

三重県競技力向上対策本部

第24回競技力向上対策委員会



令和7年11月17日（月）

三重交通Gスポーツの杜鈴鹿 水泳場第1・2会議室

三重県競技力向上対策本部

第24回競技力向上対策委員会 資料目次

○ 三重県競技力向上対策本部第24回競技力向上対策委員会 会議次第	P 3
○ 説明・報告事項	
1 委員の異動	P 7
2 三重県競技力向上対策本部会議等に係る開催経過	P 8
3 令和7年度競技力向上対策事業に係る進捗状況	P 10
4 第79回国民スポーツ大会に係る総合成績	P 11
5 第23回競技力向上対策委員会の概要	P 16
6 令和7年度オリンピック等選手強化指定事業に係る強化指定選手 追加	P 21
7 令和7年度「チームみえスーパージュニア」2次指定選手一覧	P 22
○ 協議事項	
競技力向上に係る取組等について	P 25
1 滋賀国スポ結果の振り返り	P 25
2 青森国スポで10位台前半(11位～15位)を達成するために	P 30
3 障がい者スポーツの取組について	P 31
4 協議内容について	P 32
(1) 令和8年の取組について	
(2) 令和9年以降の競技力の目標について	
○ 参考資料	
1 第69回～第79回国民スポーツ大会における天皇杯順位の推移	P 34
2 国民スポーツ大会における競技結果の推移	P 36
3 国民スポーツ大会における競技得点の推移	P 38
4 国民スポーツ大会第46回東海ブロック大会成績一覧表	P 42
5 令和7年度スポーツ指導員に係る競技実績	P 44
6 令和7年度大学運動部、企業・クラブチーム強化指定チームに係る競技実績	P 45
7 令和7年度トップアスリート就職支援事業活用者に係る競技実績	P 46
8 令和7年度パラリンピック等強化指定選手に係る競技実績	P 47
9 三重県競技力向上対策本部の継続と今後の競技力向上に係る取組方針	P 48
10 三重県競技力向上対策基本方針における目標及び計画	P 49
11 第3次三重県スポーツ推進計画	P 50
12 三重県競技力向上対策本部規約	P 65
13 三重県競技力向上対策委員会規程	P 69

三重県競技力向上対策本部

第24回競技力向上対策委員会 会議次第

令和7年11月17日（月）

三重交通 G スポーツの杜鈴鹿 水泳場第1・2会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 説明・報告事項

- (1) 委員の異動
- (2) 三重県競技力向上対策本部会議等に係る開催経過
- (3) 令和7年度競技力向上対策事業に係る進捗状況の報告及び成果
- (4) 第79回国民スポーツ大会に係る総合成績
- (5) 第23回競技力向上対策委員会の概要
- (6) 令和7年度オリンピック等選手強化指定事業に係る強化指定選手 追加
- (7) 令和7年度「チームみえスーパージュニア」2次指定選手一覧

4 協議事項

競技力向上に係る取組等について

- (1) 滋賀国スポ結果の振り返り
- (2) 青森国スポで10位台前半（11位～15位）を達成するために
- (3) 障がい者スポーツの取組について
- (4) 協議内容について
 - ① 令和8年の取組について
 - ② 令和9年以降の競技力の目標について

5 閉 会

説明・報告事項

三重県競技力向上対策本部 競技力向上対策委員会

(委員長：1名、副委員長：1名、委員：19名、計：21名)

【委員長：1名】敬称略

選出区分	所属機関・団体・役職名	名前
県関係	三重県地域連携・交通部スポーツ推進局長	藤本 典夫

【副委員長：1名】敬称略

選出区分	所属機関・団体・役職名	名前
学校・スポーツ 団体関係	公益財団法人三重県スポーツ協会副会長	村木 輝行

【委員：19名】敬称略、順不同

選出区分	所属機関・団体・役職名	名前
県関係	三重県教育委員会事務局次長	坂井 哲
市町関係	四日市市シティプロモーション部参事兼スポーツ課長	内糸 豊
	明和町参事兼総務課長	朝倉 正浩
産業・経済関係	株式会社エクセディ上級執行役員グローバル人材開発本部長	山村 佳弘
	株式会社デンソー大安製作所長	岡本 孝文
	本田技研工業株式会社鈴鹿製作所 コーポレート管理本部 人事統括部 四輪・電動総務部鈴鹿総務課長	中島 秀明
	相好株式会社代表取締役	山本 将之
	住友電装株式会社総務部	木下 勝善
学校・スポーツ 団体関係	公益財団法人三重県スポーツ協会強化・普及委員会委員長	藪内 弘志
	三重県中学校体育連盟会長	奥山 真司
	三重県高等学校体育連盟会長	嶋田 和彦
	伊賀FCくノ一三重サテライトU15監督	那須麻衣子
	県立津工業高等学校ヨット部顧問	伊藤 秀郎
	株式会社ヴィアティン三重ファミリークラブ常務取締役	椎葉 誠
	中京大学スポーツ科学部競技スポーツ科学科准教授	草薙 健太
	三重高等学校女子ソフトテニス部顧問	村田真紀乃
	三重県障がい者スポーツ協会事務局長	柳内 唯
学識経験	社会医療法人峰和会鈴鹿回生病院整形外科・リハビリテーション科部長 スポーツ医学センター長	福田 亜紀
	日本体育大学体育学部教授	杉田 正明

三重県競技力向上対策本部会議等に係る開催経過

平成23年

- 11月15日 県、県教育委員会、財団法人三重県体育協会の連名により、文部科学省、公益財団法人日本体育協会に開催要望書を提出

平成24年

- 1月11日 公益財団法人日本体育協会理事会にて、平成33年第76回国民体育大会の開催地として内々定

平成25年

- 5月29日 三重県競技力向上対策本部設立会議
第1回本部会議
- 6月 3日 第1回競技力向上対策委員会
- 11月19日 第1回成年選手強化専門委員会
- 12月13日 第1回ジュニア・少年選手強化専門委員会
- 12月16日 第1回企業等連絡調整専門委員会

平成26年

- 3月24日 第2回競技力向上対策委員会
- 4月22日 第2回本部会議
- 10月 1日 第3回競技力向上対策委員会
- 11月13日 第2回ジュニア・少年選手強化専門委員会
- 11月19日 第2回企業等連絡調整専門委員会
- 11月19日 第2回成年選手強化専門委員会

平成27年

- 3月19日 第4回競技力向上対策委員会
- 4月23日 第3回本部会議
- 9月 4日 第5回競技力向上対策委員会
- 11月 4日 第3回成年選手強化専門委員会
- 11月16日 第3回企業等連絡調整専門委員会
- 11月25日 第3回ジュニア・少年選手強化専門委員会

平成28年

- 3月24日 第6回競技力向上対策委員会
- 4月18日 第4回本部会議
- 7月20日 公益財団法人日本体育協会理事会にて、平成33年第76回国民体育大会の開催地として内定
- 9月14日 第7回競技力向上対策委員会
- 11月16日 第4回ジュニア・少年選手強化専門委員会
第4回成年選手強化専門委員会
- 11月22日 第4回企業等連絡調整専門委員会

平成29年

- 3月23日 第8回競技力向上対策委員会
- 4月18日 第5回本部会議
- 10月30日 第5回企業等連絡調整専門委員会
- 10月31日 第5回ジュニア・少年選手強化専門委員会
第5回成年選手強化専門委員会

1 1 月 2 0 日 第 9 回競技力向上対策委員会
 平成 3 0 年
 3 月 1 4 日 第 1 0 回競技力向上対策委員会
 4 月 1 6 日 第 6 回本部会議
 7 月 1 8 日 公益財団法人日本スポーツ協会理事会にて、2 0 2 1 年第 7 6 回国民体育大会の
 開催地として正式に決定
 1 0 月 2 3 日 第 6 回成年選手強化専門委員会
 1 0 月 3 0 日 第 6 回企業等連絡調整専門委員会
 1 0 月 3 1 日 第 6 回ジュニア・少年選手強化専門委員会
 1 1 月 1 6 日 第 1 1 回競技力向上対策委員会
 平成 3 1 年
 3 月 1 8 日 第 1 2 回競技力向上対策委員会
 4 月 1 6 日 第 7 回本部会議
 令和元年
 1 0 月 2 8 日 第 7 回ジュニア・少年選手強化専門委員会
 1 0 月 3 0 日 第 7 回企業等連絡調整専門委員会
 1 1 月 1 日 第 7 回成年選手強化専門委員会
 1 1 月 2 1 日 第 1 3 回競技力向上対策委員会
 令和 2 年
 2 月 2 0 日 第 1 4 回競技力向上対策委員会
 6 月 1 日 第 8 回本部会議
 令和 3 年
 3 月 1 8 日 第 1 5 回競技力向上対策委員会
 6 月 1 日 第 9 回本部会議
 1 1 月 1 9 日 第 1 6 回競技力向上対策委員会
 令和 4 年
 3 月 2 4 日 第 1 7 回競技力向上対策委員会
 6 月 2 0 日 第 1 0 回本部会議
 1 1 月 1 5 日 第 1 8 回競技力向上対策委員会
 令和 5 年
 3 月 2 0 日 第 1 9 回競技力向上対策委員会
 6 月 2 8 日 第 1 1 回本部会議
 1 1 月 2 7 日 第 2 0 回競技力向上対策委員会
 令和 6 年
 3 月 2 1 日 第 2 1 回競技力向上対策委員会
 6 月 2 8 日 第 1 2 回本部会議
 7 月 1 8 日 県、県教育委員会、公益財団法人三重県スポーツ協会の連名により、文部科学省、
 公益財団法人日本スポーツ協会に開催要望書を提出
 8 月 2 0 日 公益財団法人日本スポーツ協会国民スポーツ大会委員会にて、令和 1 7 年第 8 9
 回国民スポーツ大会の開催申請書提出順序了解県として承認（開催内々定）
 1 2 月 3 日 第 2 2 回競技力向上対策委員会
 令和 7 年
 3 月 1 7 日 第 2 3 回競技力向上対策委員会
 6 月 2 5 日 第 1 3 回本部会議

令和7年度競技力向上対策事業に係る進捗状況について

	事業名	対象	取組内容	進捗状況とこれまでの成果
①	チームみえジュニア育成事業	ジュニア・少年選手	地域で活動し、全国大会等で活躍が期待できる子どもたちを「チームみえジュニア」として指定し、その活動を支援するとともに、競技団体等が実施する新たなジュニア選手の発掘を支援するためのスポーツ体験会等の活動を支援することにより、スポーツ人口の拡大や地域の活性化につなげる。	チームみえジュニア選手として713名を指定し、指定証の交付を行った。スポーツ体験会の案内を7月と12月に県内全小・中学校に配布（予定）し、夏は17競技で選手発掘を行った。
②	ジュニアクラブ・運動部強化指定事業		全国大会や国際大会での活躍をめざし、地域で活動するジュニア選手の育成にあたり拠点となるジュニアクラブ・運動部を指定し、その活動を支援することにより、スポーツ人口の拡大や地域の活性化につなげる。	18のジュニアクラブ・運動部を強化指定した。全国レベルの大会におけるジュニア選手（小・中学生）の入賞は、32件であった。（内優勝4件）
③	高等学校運動部強化指定事業		全国大会や国際大会での活躍をめざし、地域で活動する高校生選手の育成にあたり、その拠点となる高等学校運動部を指定し、その活動を支援することにより、スポーツ人口の拡大や地域の活性化につなげる。	32校57部を強化指定した。全国高等学校総合体育大会における入賞は63件、滋賀国スポにおける少年種別の入賞は38件あった。
④	チームみえスーパージュニア強化指定事業		地域での活動からステップアップし、よりレベルの高い全国大会や国際大会等で活躍する中・高校生選手を指定し、その活動を支援することにより、地域全体での応援や、子どもたちのロールモデルとなることを促し、スポーツ人口の拡大や地域に活性化につなげる。	26名の中学生・高校生・高等専門学校生を強化指定した。全国高等学校総合体育大会や全国中学校体育大会等の全国レベルの大会及び国際大会における指定選手の入賞は79件であった。
⑤	三重県アスリートタレント発掘・育成事業（MIEスーパー☆プロジェクト）		優れた資質を有する小中学生を発掘し、様々なプログラムを通じて育成することで、国民スポーツ大会をはじめとした国内大会やオリンピック、ワールドカップなどの国際大会において活躍することができるアスリートの輩出をめざす。また、トップアスリートに必要な資質である高い意識や行動力を培うことで、社会生活の様々な場面でリーダーとして活躍できる人材として育成を図る。	これまでに発掘した7～9期生において、合計33名を育成している。10期生の募集を行い、11月2日（日）にオーディションを実施した。（応募者数28名、受験者数19名）
⑥	トップアスリート応援事業		国民スポーツ大会をはじめとする全国大会で活躍するという強い意志を持って、三重県内の高等学校に入学した少年選手に対し給付金を支援することで、安定した強化活動を支える。	今年度の認定者数は9名（令和5年度認定）である。全国高等学校総合体育大会等の全国レベルの大会における認定選手の入賞は8件あった。
⑦	チームみえ国スポ選手強化事業	少年・成年選手・共通	滋賀国スポにおいて10位台前半を獲得するため、活躍が期待できる本県代表選手（チームみえ）に対し、重点的な強化に取り組む。	令和7年の滋賀国スポに向けて、各競技団体に対するヒアリングに基づき精査した強化費の配分を行うとともに、東海ブロック大会を突破した競技種別については、必要に応じて強化費の追加配分を行った。目標としていた10位台前半である天皇杯15位を獲得することができた。
⑧	女性アスリートサポート事業		女性アスリートが競技を継続して取り組めるよう、女性特有の諸課題について、女性アスリート、指導者及び保護者など関係者が知識習得や意識向上を図ることで、サポート体制の構築を図る。	女性アスリート特有の諸課題について研修会を年2回実施予定。第1回目は10月18日に実施。第2回目を2月に実施予定。
⑨	オリンピック等選手強化指定事業		全国・国際スポーツ大会等で活躍するトップアスリートを強化指定し、合宿や強化練習等の支援を行うことで、本県への帰属意識を高めるとともに、オリンピック及び国民スポーツ大会に向けた選手の競技力向上を推進することを目的とする。	本年度は5名を強化指定した。滋賀国スポにおいては、レスリング競技に1名の選手が出場し、1件の入賞を果たした。また、日本選手権においては、レスリング競技で1件、体操競技で1件、水泳競技で1件（優勝）の入賞実績があった。
⑩	パラリンピック等選手強化指定事業		パラリンピック・デフリンピックをはじめとする全国・国際スポーツ大会での活躍を目指して強化活動に取り組んでいる本県の選手を指定し、その活動を支援することで、更なる競技力の向上を図る。	14名を強化指定した。対策本部が指標とした国際大会及び全国大会における指定選手の入賞は46件であった。10月に開催された世界パラ陸上競技選手権大会に2名が出場し、男子400mで銅メダル獲得、女子100mで8位、女子走幅跳で7位入賞の結果を残した。東京2025デフリンピックには2名出場する。
⑪	大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業	成年選手	地域で活動し、三重県を代表するチームとして活躍が期待できる大学運動部、企業・クラブチームを指定し、その活動を支援することにより、スポーツ人口の拡大や地域の活性化につなげる。	16のチームを強化指定した。滋賀国スポにおける入賞は4チーム4件（内優勝1件）であった。
⑫	トップアスリート就職支援事業		全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートまたはその指導者に対し、県内企業等への就職支援を行い、社業と競技活動の両立を図りやすい環境を整備することで、国民スポーツ大会をはじめとする全国大会等で安定した競技力を確保する。	企業等を訪問し、トップアスリートの雇用の実績、メリットおよび現状を説明した。新規登録いただいた企業は、5社である。令和8年4月1日採用予定のトップアスリートは、現在4名である。
⑬	スポーツ指導員配置事業	指導者	全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートまたはその指導者を競技団体が実施する強化練習や合宿に派遣することで、本県選手の競技力向上を図るとともに、トップアスリート等として国民スポーツ大会成年種別の競技得点の獲得をめざす。	14名を配置している。滋賀国スポで9名が入賞し、94.5点（団体競技を含む）を獲得した。男女総合成績15位という結果に大きく貢献した。
⑭	チームみえトップ指導者養成事業		今後の国民スポーツ大会等において安定的な競技力を確保するために、各年齢カテゴリーにおけるトップ指導者の養成を図るとともに、その指導を多面的に支える指導体制の構築を図る。また、各カテゴリーを超えた指導者が幅広く交流し、チームみえとしての一体感を醸成するとともに、一貫的な指導体系を構築し、指導力と資質の向上を図る。	「指導者養成講座」については、昨年度に引き続き、成年からジュニアまでの指導者である4期生22名と、コーチデベロッパー22名がファシリテーターとして参画いただきながら、2年目を迎えた。7月に指導者養成Ⅳを実施し、11月には指導者養成Ⅴ、3月に指導者養成Ⅵの開催を予定しており、本年度で4期生修了となる。「マルチサポートシステム」については、サポートスタッフを派遣し、効果的な指導体制を整備して、指導者の資質向上を図るとともに、競技力の向上を進めている。「みえコーチングコミュニティ」については、毎月News Letterを発行するとともに、グループLINEを活用した相互の情報交換や最新の情報共有を進め、意識向上を図っている。滋賀国スポの入賞については、4期生22名のうち23件、デベロッパー22名のうち14件あった。
⑮	競技用具等整備事業	環境整備	国民スポーツ大会や全国大会等において、安定した競技力を確保するため、強化活動に必要な競技用具等を整備する。	ローイング、セーリング、カヌー、ライフル射撃、自転車、アイスホッケー競技について、各競技団体に競技用具等の無償貸与を行った。この競技における滋賀国スポでの入賞は13件であった。

※値は令和7年10月31日現在

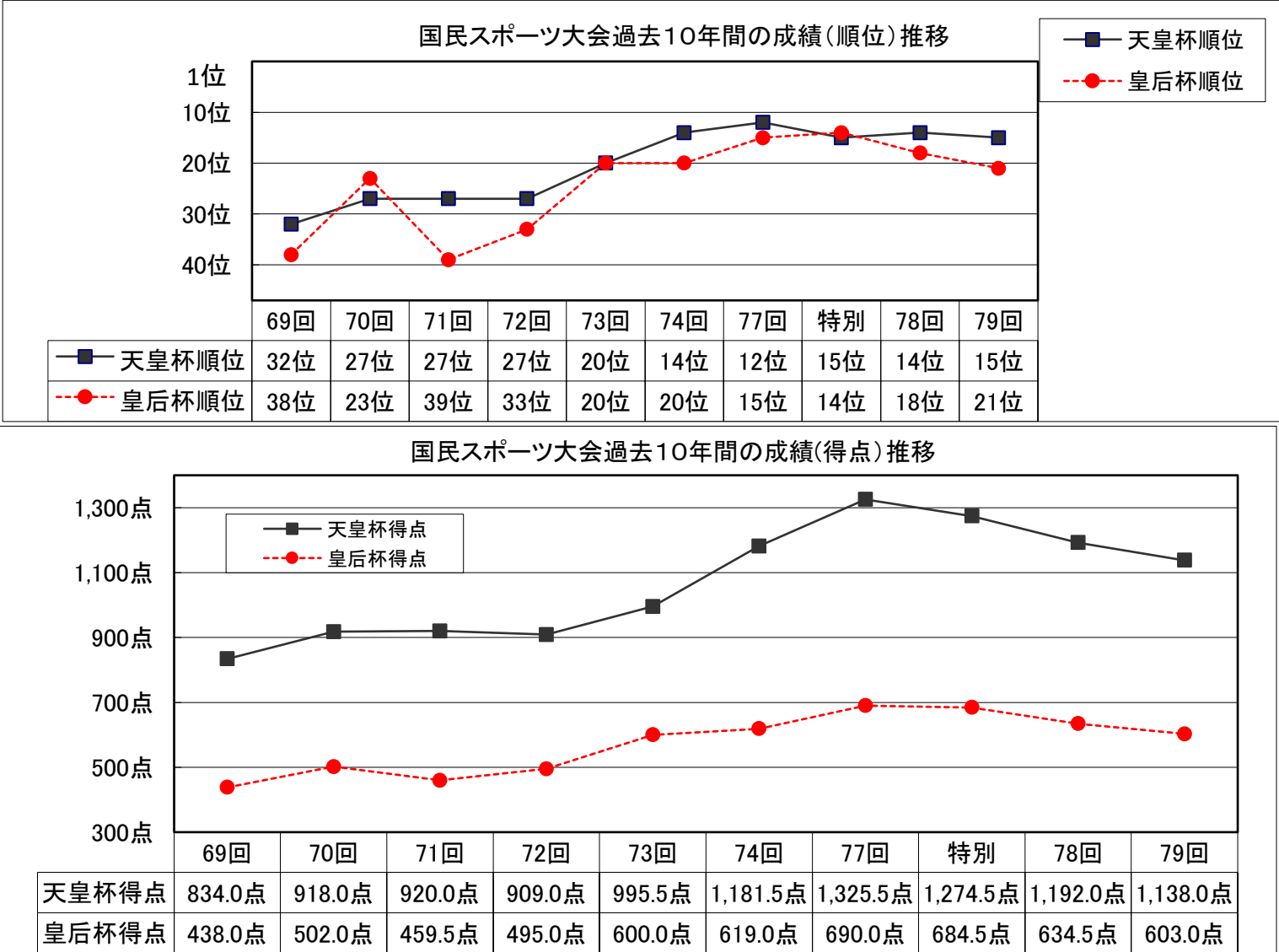
第79回国民スポーツ大会総合成績について

男女総合成績競技別一覧

競技順位	競 技 名	競技得点	参加点	合 計
1	ウエイトリフティング	99.0	10.0	109.0
1	ボ ウ リ ン グ	78.0	10.0	88.0
2	スポーツクライミング	72.0	10.0	82.0
5	セ ー リ ン グ	43.0	10.0	53.0
7	体 操	60.0	10.0	70.0
7	ソ フ ト ボ ー ル	64.0	10.0	74.0
8	トリアスロン	3.0	10.0	13.0
9	な ぎ な た	21.0	10.0	31.0
9	カ ヌ ー	45.0	10.0	55.0
10	ラグビーフットボール	30.0	10.0	40.0
11	レ ス リ ン グ	35.5	10.0	45.5
12	陸 上 競 技	69.5	10.0	79.5
14	ス キ ー	7.0	10.0	17.0
14	ゴ ル フ	7.5	10.0	17.5
18	水 泳	47.0	10.0	57.0
18	卓 球	7.5	10.0	17.5
19	自 転 車	17.0	10.0	27.0
19	馬 術	14.0	10.0	24.0
24	ス ケ ー ト	11.0	10.0	21.0
28	ボ ク シ ン グ	7.0	10.0	17.0
小計	20競技	738.0	200.0	938.0
	他 20競技	0	200.0	200.0
	40競技	738.0	400.0	1138.0

女子総合成績競技別一覧

競技順位	競 技 名	競技得点	参加点	合 計
1	ウエイトリフティング	29.0	10.0	39.0
3	ボ ウ リ ン グ	42.0	10.0	52.0
3	ラグビーフットボール	30.0	10.0	40.0
5	レ ス リ ン グ	5.5	10.0	15.5
6	ゴ ル フ	7.5	10.0	17.5
7	スポーツクライミング	30.0	10.0	40.0
8	ス キ ー	7.0	10.0	17.0
9	な ぎ な た	21.0	10.0	31.0
10	セ ー リ ン グ	12.0	10.0	22.0
16	水 泳	31.0	10.0	41.0
17	体 操	5.0	10.0	15.0
17	陸 上 競 技	21.0	10.0	31.0
24	カ ヌ ー	12.0	10.0	22.0
小計	13競技	253.0	130.0	383.0
	他 22競技	0	220.0	220.0
	35競技	253.0	350.0	603.0



第79回国民スポーツ大会三重県選手団入賞一覧

団体種目

順位	競 技 名	種 別	得点
1	ソ フ ト ボ ー ル	成年男子（全三重）	64 点
	ボ ウ リ ン グ 団体戦（2チーム戦）	成年女子（全三重）	24 点
	セ ー リ ン グ	少年男子（津工業高校）	24 点
2	スポーツクライミング （ ボ ル ダ ー ）	成年男子（全三重）	21 点
	体 （ 新 体 操 操 ）	少年男子（高田高校）	35 点
3	ボ ウ リ ン グ 団体戦（2チーム戦）	成年男子（全三重）	18 点
	ボ ウ リ ン グ	少年男子（全三重）	18 点
	ラグビーフットボール	女子（PEARLS）	30 点
	スポーツクライミング （ ボ ル ダ ー ）	少年男子（全三重）	18 点
	スポーツクライミング （ リ ー ド ）	少年女子（全三重）	18 点
4	な ぎ な た （ 演 技 ）	少年女子（稻生高校）	15 点
	ボ ウ リ ン グ	少年女子（全三重）	15 点
5	体 （ 体 操 競 技 ）	成年男子（全三重）	20 点
	卓 球	成年男子（全三重）	7.5 点
	水 泳 （アーティスティックスイミング）	少年女子（全三重）	12 点
	セ ー リ ン グ （ 420 級 ）	少年女子（全三重）	12 点
	スポーツクライミング （ ボ ル ダ ー ）	少年女子（全三重）	12 点
6	ゴ ル フ	女子（全三重）	7.5 点
7	な ぎ な た （ 試 合 ）	少年女子（全三重）	6 点
8	体 （ 体 操 競 技 ）	少年女子（全三重）	5 点
	スポーツクライミング （ リ ー ト ）	少年男子（全三重）	3 点

団体種目得点合計 385 点

入賞件数		R 6	R 7
		106 件	93 件
	団体	30 件	21 件
	個人	76 件	72 件

個人種目

順位	競技名	種別	種目	氏名	所属 《ふるさと登録》	得点
1	陸上競技	少年男子A	円盤投	東 琉空	稻生高校	8 点
	水泳（競泳）	少年女子B	バタフライ100m	奥田 真由	神戸高校	8 点
	ウエイトリフティング	成年男子	67kg級クリーン&ジャーク	坂 典泰	石薬師高校	8 点
	ウエイトリフティング	少年男子	89kg級クリーン&ジャーク	田島 宗	四日市中央工業高校	8 点
	ウエイトリフティング	女子	71kg級スナッチ	石井 未来	いちご(株) 《亀山高校》	8 点
	自転車競技	男子A	1kmタイムトライアル	伊澤 将也	(公財)三重県スポーツ協会	8 点
	カヌー（スラローム）	成年男子	カヤックシングル25ゲート	齋藤 康祐	(公財)三重県スポーツ協会	8 点
	カヌー（スラローム）	成年男子	カヤックシングル15ゲート	齋藤 康祐	(公財)三重県スポーツ協会	8 点
	カヌー（スラローム）	成年男子	カナディアンシングル25ゲート	齋藤 彰太	(公財)三重県スポーツ協会	8 点
	カヌー（スラローム）	成年男子	カナディアンシングル15ゲート	齋藤 彰太	(公財)三重県スポーツ協会	8 点
2	陸上競技	成年男子	やり投	中村 竜成	(株)染めQテクノロジー 《伊勢工業高校》	7 点
	陸上競技	少年男子共通	棒高跳	上野 颯勢	近畿大学工業高等専門学校	6.5 点
	ボクシング	成年男子	ミドル級	須永 大護	(公財)三重県スポーツ協会	7 点
	レスリング	成年男子	フリースタイル86kg級	神谷龍之介	日本体育大学 《いなべ総合学園高校》	7 点
	レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル65kg級	弓矢 翔太	いなべ総合学園高校	7 点
	セーリング	成年男子	ILCA7級	黒田 浩渡	ナブテスコ(株)	7 点
	ウエイトリフティング	成年男子	67kg級スナッチ	坂 典泰	石薬師高校	7 点
	ウエイトリフティング	成年男子	+109kg級クリーン&ジャーク	横山太偉雅	(株)日商	7 点
	ウエイトリフティング	女子	59kg級スナッチ	山本 真鼓	鈴鹿大学	7 点
	自転車競技	男子A	スプリント	伊澤 将也	(公財)三重県スポーツ協会	7 点
	スキー（シヤイアントスラローム）	成年女子B		中澤 真緒	(公財)三重県スポーツ協会	7 点
3	陸上競技	成年男子	100m	林 哉太	ノジマT&FC	6 点
	陸上競技	成年男子	800m	源 裕貴	NTN(株)	6 点
	陸上競技	成年男子	3000m障害	谷口 辰熙	NTN(株)	6 点
	陸上競技	少年女子A	三段跳	岡島 奏音	皇学館高校	6 点
	陸上競技	少年女子B	1500m	是枝 愛香	四日市市立内部中学校	6 点
	水泳（競泳）	少年女子共通	自由形400m	奥田 真由	神戸高校	6 点
	レスリング	成年男子	フリースタイル57kg級	高田 勇	日本体育大学 《いなべ総合学園高校》	5.5 点
	レスリング	女子	フリースタイル62kg級	稲垣 柚香	自衛隊体育学校 《津市立一志中学校》	5.5 点
	ウエイトリフティング	成年男子	+109kg級スナッチ	横山太偉雅	(株)日商	6 点
	ウエイトリフティング	少年男子	89kg級スナッチ	田島 宗	四日市中央工業高校	6 点
	カヌー（スラローム）	成年女子	カナディアンシングル25ゲート	藤井 南帆	鈴鹿回生病院	6 点
	カヌー（スラローム）	成年女子	カナディアンシングル15ゲート	藤井 南帆	鈴鹿回生病院	6 点

個人種目

順位	競 技 名	種 別	種 目	氏 名	所 属 《ふるさと登録》	得点
4	陸 上 競 技	少年女子共通	やり投	松山 亜緒	宇治山田商業高校	5 点
	水 泳 （ 飛 込 ）	少年女子	高飛込	伊坂 奏音	鈴鹿高校	5 点
	ウエイトリフティング	成年男子	61kg級クリーン&ジャーク	松田 魁利	東京国際大学 《亀山高校》	5 点
	ウエイトリフティング	女子	59kg級クリーン&ジャーク	山本 真鼓	鈴鹿大学	5 点
	ウエイトリフティング	女子	71kg級クリーン&ジャーク	石井 未来	いちご倶 《亀山高校》	5 点
	馬 術	少年男子	自由演技馬場馬術	杉原 琉文	高田高校	5 点
5	陸 上 競 技	少年男子A	やり投	山邊 陽色	宇治山田商業高校	4 点
	水 泳 （ 競 泳 ）	成年男子	自由形400m	山本 大地	中京大学 《尾鷲高校》	4 点
	水 泳 （ 競 泳 ）	成年男子	個人メドレー200m	加藤 涼	明治大学 《松阪市立殿町中学校》	4 点
	レ ス リ ン グ	成年男子	グレコローマンスタイル130kg級	河野 隆太	(株)湊	3 点
	レ ス リ ン グ	成年男子	フリースタイル74kg級	神谷 樹生	日本体育大学 《いなべ総合学園高校》	2.5 点
	レ ス リ ン グ	少年男子	フリースタイル55kg級	山田 謙心	いなべ総合学園高校	2.5 点
	レ ス リ ン グ	少年男子	グレコローマンスタイル125kg級	山中 一平	朝明高校	2.5 点
	ウエイトリフティング	成年男子	61kg級スナッチ	松田 魁利	東京国際大学 《亀山高校》	4 点
	ウエイトリフティング	成年男子	89kg級クリーン&ジャーク	柳川 友章	(株)エルテックス	4 点
	ウエイトリフティング	少年男子	73kg級スナッチ	高野 海翔	四日市中央工業高校	4 点
	ウエイトリフティング	少年男子	73kg級クリーン&ジャーク	高野 海翔	四日市中央工業高校	4 点
	ウエイトリフティング	少年男子	102kg級スナッチ	西川 恭平	亀山高校	4 点
	ウエイトリフティング	女子	49kg級クリーン&ジャーク	伊阪 夏妃	鈴鹿大学	4 点
	スケート (ス ヒ ー ト)	成年男子	500m	辻本 一史	(公財)三重県スポーツ協会	4 点
	スケート (ス ヒ ー ト)	成年男子	1000m	辻本 一史	(公財)三重県スポーツ協会	4 点
6	陸 上 競 技	少年男子A	ハンマー投	大川 巧	久居高校	3 点
	水 泳 （ 競 泳 ）	成年男子	フリーレー4×50m	石黒 智基 難波 暉 伊藤 裕馬 加藤 涼	津田スイミングスグループ 新東工業株式会社 《四日市市立常磐中学校》 三起商行株式会社 《津田学園高等学校》 明治大学 《松阪市立殿町中学校》	3 点
	ウエイトリフティング	少年男子	102kg級クリーン&ジャーク	西川 恭平	亀山高校	3 点
	馬 術	成年男子	ダービー	中村 勇	北勢ライディングファーム	3 点
	ボ ウ リ ン グ	成年女子	個人	入江菜々美	(公財)三重県スポーツ協会	3 点
	ト ラ イ ア ス ロ ン	成年男子		前田 凌輔	(公財)三重県スポーツ協会	3 点
	スケート (ス ヒ ー ト)	成年男子	500m	森本 拓也	(公財)三重県スポーツ協会	3 点

個人種目

順位	競技名	種別	種目	氏名	所属 《ふるさと登録》	得点
7	陸上競技	成年女子	やり投	曾野 雅	国土館大学 《松阪商業高校》	2 点
	陸上競技	少年男子共通	110mハードル	鎌倉 舞飛	近畿大学工業高等専門学校	2 点
	陸上競技	少年女子A	2000m障害	嵐 夢乃	鈴鹿高校	2 点
	水泳（競泳）	成年男子	自由形50m	難波 暉	新東工業株式会社 《四日市市立常磐中学校》	2 点
	水泳（飛込）	少年男子	高飛込	田中 優稀	海星高校	2 点
	自転車競技	男子A	個人ロードレース	山本 元喜	(公財)三重県スポーツ協会	2 点
	馬術	成年男子	馬場馬術	河北 浩峰	学校法人高田学苑	2 点
	馬術	成年男子	自由演技馬場馬術	河北 浩峰	学校法人高田学苑	2 点
	馬術	少年男子	馬場馬術	杉原 琉文	高田高校	2 点
8	水泳（競泳）	成年男子	バタフライ100m	阪本 祐也	(公財)三重県スポーツ協会	1 点
	カヌー (スラローム)	少年男子	カナディアンシングル200m	竹野 日翔	桑名西高校	1 点

個人種目得点計	353.0
競技得点（団体・個人）計	738.0
参加得点	400.0
天皇杯得点	1138.0

三重県競技力向上対策本部 第23回競技力向上対策委員会に係る概要

令和7年3月17日（月）

三重県庁講堂棟 講堂

1 協議事項

(1) 【滋賀国民スポーツ大会について】

・意見なし

(2) 【令和7年度競技力向上関連事業について】

・意見なし

(3) 【ジュニア・少年選手に対する中長期的な取組について】

①人口減少のなか、選手発掘の取組に対する支援のあり方

・限られた資金をどのように割り振っていくかが非常に重要であると思っている。限りがある予算を薄く広く配分するというのは、競技力の向上になかなか繋がりにくいと感じている。成年選手については、就職先が非常に重要であり、県としても就職支援の取組を継続いただいているが、今後更に、選手がスポーツに専念できる、取り組みやすい環境整備を民間企業様に理解いただくとともに働きかけていくことが必要ではないかと考えている。また、私どもには新たに加えるバスケットボールを含め、サッカー、バレーボール、ハンドボールとアンダーカテゴリーがある。ただし、事業としてうまくいっている競技もあれば、赤字の中、我々が補填をして継続している競技があるのが現状である。中学校運動部活動の地域連携・地域移行が進んでいけば、公立学校の体育館や武道場等の施設を使用しない時間に、競技団体以外の我々や他の競技のスクールに解放いただければ、更に有効活用できるのではないかと考えている。企業である私どもが取り組むとなると、営利が絡んでくるため、公共施設の利用に関しては、ハードルが高い。これらの課題については、現有施設の有効活用により、解決していけると思う。

・市の施設としては、スポーツ施設も含めて多く保有している。そういった中、競技力向上や、プロスポーツに関わっての利用に関しては、市民利用とのバランスが課題となっている。特に、国スポに向けて作った施設については、高規格な施設もあるため、効率的に稼働している反面、自由に使えない状況もある。ジュニアの育成については、三重県内の廃校等の使用していない、または平日夜間や土日に空きのある体育館等を、行政からの費用補助もいただく中で、地元根差したジュニアスクールやジュニアユースチームに貸し出しをいただくことができれば、より活発に有効活用できるのではと考えている。

本市としても市内小中学校の運動施設を学校開放している。現在は、各地区の学校毎に学校開放運営委員会を設け、この委員会に加入した開放地区の居住者、および団体が利用している状況である。ジュニアスクールやジュニアチーム等の利用に関しては、ご意見をい

ただきながら検討していきたいと思う。

・県立学校でも、体育館等の解放は行っている。廃校の施設利用に関しては、大きな負担となる光熱水費の基本料金等が、まず課題になると考えられる。不定期的な利用に対しての基本料金負担は、住民の方々の理解を得るのが難しく、また、営利利用に関わる解放についても、出来る、出来ないという縛りもあるので、今後検討していく必要があると思う。

②中学校運動部活動の地域連携・地域移行における競技力向上対策のあり方

・全国的には、休日の部活動を地域に展開していくという流れになってきていると思う。本市においても、7つの総合型地域スポーツクラブを受け皿とする方向で検討を進めている。しかしながら、部活動の受け皿となると、一定のルールが伴ってくるため、総合型ですべてカバーするのは難しく、競技種目によっては指導者の確保が進んでいないという状況もある。現在、市内には16種目あるクラブを、総合型地域スポーツクラブと地域に根ざしたスポーツクラブという拠点として、地域毎に様々な競技種目を選択できるよう、来年度に部活動の地域展開に特化した執務を教育委員会に設け、市のスポーツ協会加盟団体やその他関係団体の方々にも協力いただきながら進めていこうと考えている。令和8年の夏の大会以降は、休日すべて地域展開していく予定である。部活動の地域連携・地域移行については、マイナス面もあるが、拠点型であれば今まで部活動にはなかった競技を選択できるといったプラス面もあるので、プラス面を活かしていけるよう、中長期での課題解決を含め取り組んでいく。

・県教育委員会では、先月、ウェブシステムを活用した「みえ地域クラブ活動人材バンク」を開設した。現在、約90人の応募があるものの、クラブ活動と適正なマッチングができるかが今後の課題となってくると考えている。また、応募には、文化系の方、高齢者の方も含まれているので、スポーツの指導者を更に確保するために、来年度以降は、広報の力も借りながら取り組もうと考えている。

【ジュニア・少年選手に対する中長期的な取組】全体について

・地域連携・地域移行に向けて、活動場所や指導者の確保が課題という意見があるが、これまで中学校の先生が業務として部活動に関わっていたのが、今後は部活動の指導をしなくても良い、指導に関わらないという人が増えている。ハンドボールは、令和8年以降の全国大会がなくなるため、これに代わって代替大会を検討する等、日本スポーツ協会を中心に模索しているのが現状。今までは、中学校から高校までのピラミッド型で行ってきたが、これからは円柱のような状態で育成していくしかないのかと思っている。現時点では、やはり、人と場所が課題となっている。場所については他の委員からも発言があったように、費用がかかれば継続できない。塾のように月謝を徴収して活動したとしても、多くが施設利用料に回ってしまうため、指導者に対して支払えるだけの財源が確保できない。これらの問題を解決するためには、場所の無償提供とまではいかないが、市や県から支援が

必要だと思っている。また、学校の体育館を一般開放してくれたとしても、同じ地域にハンドボール、バレーボール、バスケット等の団体が複数あれば、場所の取り合いとなり、使いづらいような状況もあるなど、問題は山積みである。

・企業の方とは少し異なるが、本校は体育館に冷暖房がついているため、夏季の中体連等の大会で使用していただいている。佐賀市においては、令和8年度までに各中学校の大会で冷房を使用することが決まったようである。個人的には、中学校のクラブ活動は非常に教育性が高いと思っており、それが果たして地域移行となった場合、管理体制等において様々な問題が出てくるのではないかと考えている。部活動をしたくない先生が増えているのは間違いないが、指導をしたい先生もいるので、そのような中学校や高校の先生方を活用していけるようにしなければ地域移行はできない、また、人材バンクを作って指導者を集めたら始められるというものでもないと考えている。

・山梨県では、人材バンクを通して一年間で集まった800人のうち、マッチングできたのが22名(9件)であったことから、人材バンクで人を集めたとしても、人材の都市部への集中や、活動(指導)時間の問題等、すべての地域に行き渡るだけの指導者の確保ができなかったという報告がある。しかし、この取組には一定の意味がある。ジュニアと少年選手に対する中長期的な取組については、二つの観点があると考えている。一つは10年後にくる三重国スポ。ここをどう戦略的に、中長期的な取組をするのかということを考える必要があると思っている。10年後、少年の部で活躍してくれる子どもは、小学生低学年であり、その子たちに対して、スポーツと向き合う環境・仕組みをどのように作ってあげるかということ。今すでにいくつかの競技で体験会をやっていただいているが、今後はこれまでに以上に積極的に進めていく必要があると感じている。もう一つ、部活動の地域展開に関して、現在スポーツ庁で、「持続可能な国際競技力向上プラン」の検討会を立ち上げ、先日、プランの改定案を取りまとめたところである。この検討会は、夏のオリンピックが終わった後、JOC、JPC、JSP0の関係者が集まって、国が掲げる国際競技力向上の施策を検討する4年に1度の会議である。その施策の4つの柱には、アスリートの強化活動の基盤の確立強化、タレント発掘育成におけるNFと地域との連携強化、NFによる地域と一体となった発掘育成というものが入っている。すなわち中央競技団体と県の競技団体、市の競技団体が連携しながら、選手の発掘、育成をしっかりと取り組んでほしいという国としての考えが入っている。三重県が今注力しようとしている考え方は、まさに国の考え方と同じであると感じており、それがどのように展開するは、先ほどの拠点型の例も含め、今後が楽しみであると感じている。拠点型の場合は、各競技団体と更に連携しながら、指導者や指導プログラムの展開を図る必要がある。いずれにせよ、競技力向上に向けてではあるが、部活動の教育的な意味の継承と発展というのは一つの地域展開の課題とされているので、この課題も競技力向上とともに一緒にセットにしながら、環境整備をして行く必要があるのではと思う。

・教育委員会が運用を始めた人材バンクを拝見している。現在、桑名市では、バレーボール女子とバスケットボール男女において求人があると伺っているが、平日は夕方早い時間

帯での1、2時間の活動と合わせて土日の活動となっており、普通に働いてる方々にはなかなか難しい条件であると思っている。指導者不足においては、私どもも同様に抱えている問題で、アスジョブ三重でお世話になった選手が引退後も三重県に指導者として残り、還元してくれればという気持ちを持っている。私どものバレーボール競技の指導者資格の取得費用は、全額我々が補填をして育成をしており、今年も2名受ける予定である。中には、中学生の指導に関わりたいという選手もいるが、チームとしては、現役選手のうちに引退を見据えて指導者資格を取得し、指導現場に入っていく準備を支援するという活動をしつつ、人材バンクへの登録も推奨している。その他、企業のご理解のもと、副業禁止規定を解いていただき、15時までの勤務、それ以降は中学校でバレーボールの指導をし、指導料をいただけること。このような活動を認めていただければ、競技生活と指導者生活を兼務できると考えている。現役時代は、そのような時間がなかなか確保できないが、選手が引退後を考えて時に、このような関わり方で三重県に残って活動してもらえんというのを、我々としては希望している。一つのチームを指導して行くには指導者一人いればいいという問題ではなくて、同じ時間に複数の指導者が必要である。中学校小学校の体育館の利用について、私ども企業チームにとっては、「営利」に関するハードルがあるが、その理解と改善をいただければ、もう少し有効に活動して指導者を確保できる環境を整えられると考えている。企業の理解を得ることはもちろん、これらの課題を解決するには行政の支援も必要であると考えている。

- ・私どもジュニア育成に関しては、半年以上前から、本教室に所属する4000人の現小学1年生、幼稚園の年長の年代をピックアップして、三重国スポに向けて発掘を始めている。さらに、今年の夏から冬にかけて、10年かけての強化をスタートする予定をしているので、それなりの成果を得られると考えている。

- ・今後の進め方においては、大変根深い問題があり、スポーツに関わる県の関係者や、各競技団体、企業の方々には、今後の進め方について大変ご苦勞されてのではないかと感じている。今後については、この場で解決できるものとそうでないものはあるが、2035年の三重国スポで好成績を残すという大きな命題に向けて、人材の発掘と育成環境、ターゲット世代の子どもたちを育成する指導者等の課題を具体的に明確化にする必要があると思う。また、課題解決については、リソースの集中投下等、今後に向けた三重県のスポーツ戦略をさらに上位の方でしっかり検討していかなければ、抜本的な改革、改善ができないと考える。従来その問題解決型の進めから、課題達成型の進めにしていくべきではなかろうかと思う。本気で2035年の三重国スポを成功させ、良い結果を出させるという意味では、県をまきこんだ新しい育成モデルを構築していく必要がある。

③その他

- ・本来、連携や協働というのは、県や市町、競技団体や学校が情報を共有しながら、役割分担を整理し、具体的な取組をするということであるが、現時点では役割やゴールを共有できておらず、まとまっていないように感じている。特に、部活の地域移行、地域展開に

については、各関係機関がそれぞれにお見合いしている雰囲気もあるようにも感じる。スポーツ庁の有識者会議では、都道府県がリーダーシップを発揮して、市町に対して必要なシェアをきめ細かく行うことが重要であると、中間報告にも記載されているので、グランドデザインをしっかりと描いた上で、各関係者が連携・協働しながら進めていくことが望ましいと考えている。

・競技団体においては、SAGA国スポ終了後から次年度に向けての計画をしっかりと立てていただいている中、来年度の強化費の大幅な減額について、どの程度周知できているのか。団体関係者は、別に仕事を持ちながらボランティアで取り組んでいただいているという認識のもと、彼等への丁寧な対応をお願いしたいと思っている。

地域移行、地域展開については、三重のスポーツの10年後の姿、あるいは15年後の姿というのをしっかりと頭に描いてやる。他の委員と同様に、活動場所や指導者、あるいはアスリートのセカンドキャリアの問題等、すべて包含してグランドデザインを描くことが重要であると思う。単に部活動の地域展開ということだけでなく、県スポーツ推進局を中心に、教育委員会や競技団体、企業クラブチームがまとまって課題等の共有をしつつ議論し合っていくことが必要であり、それができて初めて連携・協働と言えると考えている。また、スポーツ文化の大きな転換期、文化を変えようとするこの転換期に、どこよりも早く、どこよりも一致団結して取り組み、新たな仕組みづくりを進めていただきたい。

令和7年度オリンピック等選手強化指定事業に係る強化指定選手 追加

	名前	年齢 (学年)	所属	競技名(種目名)	指定枠
1	杉本 侑翼	18 (4年)	近畿大学工業 高等専門学校	スポーツ クライミング (ボルダー)	新規
2	小林 舞	20 (3年)	摂南大学	スポーツ クライミング (リード)	新規
3	山 真奈実	17 (3年)	三重県山岳・ スポーツクライミング 連盟 (ECC学園高等学校)	スポーツ クライミング (ボルダー)	新規
4	中村 真翔	19 (2年)	育英大学	レスリング グレコローマン63kg	新規

※年齢・学年は令和7年4月1日現在

令和7年度「チームみえスーパージュニア」2次指定選手一覧

№	競技名	選手名	所属	学年
1	陸上競技	あずま 東 琉空	県立稲生高等学校	3
2	陸上競技	おかじま 岡島 かのん 奏音	皇學館高等学校	3
3	陸上競技	おがわ 小川 りお 莉緒	県立稲生高等学校	2
4	陸上競技	ふじわら 藤原 まお 茉央	鈴鹿市立白子中学校	3
5	陸上競技	これえだ 是枝 あいか 愛香	四日市市立内部中学校	3
6	陸上競技	おおかわ 大川 たくみ 巧	県立久居高等学校	3
7	水泳	やまもと 山本 りょうたろう 凌太郎	県立四日市中央工業高等学校	3
8	テニス	すずき 鈴木 はる 晴	四日市市立山手中学校	2
9	テニス	おの 小野 りんたろう 倫太郎	県立四日市工業高等学校	2
10	テニス	よしもと 義基 あかる 耀	県立四日市工業高等学校	2
11	バスケットボール	やすい 安井 ほのか 穂香	四日市メリノール学院中学校	3
12	バスケットボール	こばやし 小林 らん 蘭	四日市メリノール学院高校	1
13	自転車	にしむら 西村 たいち 太一	松阪市立久保中学校 (MIE SUPER STAR NEXT)	3
14	ラグビーフットボール	いけなが 池永 ゆな 結那	四日市メリノール学院高校	3
15	ラグビーフットボール	あかぎ 赤木 ひなこ 陽菜子	四日市メリノール学院高校	2
16	ラグビーフットボール	はらだ 原田 ゆい 唯衣	四日市メリノール学院高校	3
17	スポーツクライミング	こやま 小山 そらん 楚嵐	県立上野高等学校	1

協議事項

参考資料

第69回～73回国体における【天皇杯】順位の推移

参考資料1

第69回長崎				第70回和歌山				第71回岩手				第72回愛媛				第73回福井			
順 県 名 得点合計				順 県 名 得点合計				順 県 名 得点合計				順 県 名 得点合計				順 県 名 得点合計			
当年	1	長崎	2,364.0	当年	1	和歌山	2,257.0	当年	1	東京	2,532.5	当年	1	東京	2,535.0	当年	1	福井	2896.0
	2	東京	2,113.5		2	東京	2,052.5		2	岩手	1,924.0		2	愛媛	2,395.5		2	東京	2246.0
	3	愛知	1,886.5		3	愛知	1,977.5		3	埼玉	1,893.0		3	埼玉	1,787.5		3	大阪	1880.0
	4	大阪	1,807.5		4	埼玉	1,904.5		4	愛知	1,777.5		4	大阪	1,784.0		4	埼玉	1825.5
	5	埼玉	1,702.5		5	大阪	1,806.5		5	千葉	1,676.0		5	神奈川	1,674.5		5	千葉	1708.5
	6	神奈川	1,649.5		6	神奈川	1,626.0		6	大阪	1,642.0		6	愛知	1,643.5		6	愛知	1687.5
	7	福岡	1,509.5		7	千葉	1,528.5		7	愛媛	1,531.0		7	福井	1,588.5		7	神奈川	1611.0
	8	北海道	1,484.5		8	福岡	1,519.5		8	神奈川	1,520.0		8	千葉	1,531.5		8	福岡	1468.0
	9	岐阜	1,439.5		9	北海道	1,393.0		9	北海道	1,408.0		9	福岡	1,415.5		9	北海道	1407.25
	10	千葉	1,394.0		10	京都	1,293.5		10	岐阜	1,354.5		10	北海道	1,287.5		10	兵庫	1312.5
	11	兵庫	1,314.0		11	岡山	1,222.5		11	兵庫	1,293.0		11	京都	1,278.5		11	岡山	1288.5
	12	京都	1,222.5		12	兵庫	1,215.5		12	京都	1,289.0		12	兵庫	1,237.5		12	愛媛	1235.0
	13	岡山	1,195.5		13	愛媛	1,203.5		13	福岡	1,286.0		13	岐阜	1,151.0		13	長野	1233.5
	14	群馬	1,139.0		14	長野	1,150.5		14	広島	1,192.5		14	岩手	1,125.0		14	岐阜	1232.5
	15	和歌山	1,063.0		15	岐阜	1,130.5		15	岡山	1,146.0		15	広島	1,123.5		15	京都	1156.0
	16	石川	1,027.5		16	岩手	1,099.0		16	静岡	1,093.5		16	岡山	1,073.5		16	茨城	1120.0
	17	福井	1,018.5		17	長崎	1,070.5		17	新潟	1,054.0		17	静岡	1,071.5		17	鹿児島	1041.0
	18	広島	1,012.5		18	熊本	1,038.5		18	福井	1,052.5		18	長野	1,057.5		18	広島	1033.75
	19	宮崎	1,001.0		19	栃木	1,029.0		19	長野	1,041.5		19	奈良	990.5		19	静岡	1033.5
1	20	長野	997.0	2	20	静岡	1,015.5	2	20	和歌山	1,008.5	3	20	秋田	989.0	3	20	三重	995.5
	21	愛媛	984.5		21	広島	1,000.5		21	富山	988.5		21	栃木	964.0		21	大分	974.5
	22	山口	971.5		22	群馬	997.5		22	茨城	981.5		22	群馬	950.0		22	富山	966.5
	23	栃木	966.5		23	宮城	956.5		23	山梨	953.5		23	茨城	948.0		23	石川	956.0
	24	熊本	935.0		24	滋賀	940.0		24	宮城	948.0		24	長崎	940.0		24	岩手	939.5
	25	宮城	934.0		25	大分	930.5		25	群馬	934.0		25	大分	936.5		25	奈良	919.0
	26	静岡	917.0		26	福井	920.5		26	山形	929.0		26	和歌山	934.5		26	熊本	915.5
	27	鹿児島	897.5		27	三重	918.0		27	三重	920.0		27	三重	909.0		27	和歌山	912.5
	28	大分	896.0		28	山口	904.5		28	長崎	919.5		28	石川	906.5		28	栃木	875.5
	29	山梨	892.0		29	石川	887.0		29	山口	906.5		29	熊本	903.0		29	香川	859.5
	30	山形	870.0		30	香川	879.0		30	栃木	903.5		30	香川	888.0		30	宮城	859.0
	31	茨城	852.5		31	福島	866.0		31	熊本	899.5		31	山形	873.5		31	滋賀	854.5
	32	三重	834.0		32	茨城	839.0		32	鹿児島	895.0		32	新潟	871.0		32	群馬	846.0
	33	富山	830.5		33	奈良	834.5		33	滋賀	888.0		33	鹿児島	864.5		33	佐賀	826.5
	34	福島	823.0		34	山梨	818.5		34	奈良	869.0		34	宮城	842.0		34	山形	817.25
	35	滋賀	810.5		35	富山	807.0		35	福島	843.5		35	青森	827.5		35	山口	813.0
	35	奈良	810.5		35	山形	801.5		36	石川	838.0		36	富山	821.0		36	山梨	803.0
	37	岩手	807.5		37	鹿児島	799.5		37	秋田	817.5		37	山梨	812.5		37	新潟	792.5
2	38	鳥取	790.0	3	38	秋田	774.5	4	38	大分	786.0	4	38	島根	806.0	3	38	秋田	787.5
	39	佐賀	783.0		39	新潟	767.0		39	宮崎	768.5		39	滋賀	802.5		39	宮崎	780.5
	40	新潟	780.0		40	青森	722.5		40	青森	759.5		40	山口	797.5		40	鳥取	751.0
	41	香川	779.5		40	鳥取	722.5		40	香川	759.5		41	福島	768.0		41	長崎	725.0
	42	秋田	769.0		42	宮崎	707.5		42	鳥取	753.5		42	鳥取	751.5		42	青森	692.5
	43	青森	758.5		43	佐賀	687.5		43	佐賀	739.5		43	佐賀	730.5		43	沖縄	655.5
	44	沖縄	726.0		44	島根	648.5		44	沖縄	702.0		44	宮崎	702.0		44	福島	654.0
	45	島根	555.0		45	沖縄	633.0		45	島根	632.0		45	沖縄	670.0		45	徳島	607.5
	46	徳島	550.0		46	徳島	605.5		46	徳島	540.5		46	徳島	613.5		46	島根	533.0
	47	高知	539.0		47	高知	576.5		47	高知	455.5		47	高知	552.5		47	高知	506.75

第74回～79回国体・国スポにおける【天皇杯】順位の推移

参考資料1

当年	第74回茨城			当年	第77回栃木			当年	特別鹿児島			当年	第78回佐賀			当年	第79回滋賀		
	順	県 名	得点合計		順	県 名	得点合計		順	県 名	得点合計		順	県 名	得点合計		順	県 名	得点合計
	1	茨城	2569.0		1	東京	2436.00		1	東京	2474.50	1	1	東京	2472.00		1	滋賀	2488.00
	2	東京	2217.0		2	栃木	2270.50		2	鹿児島	2161.25		2	佐賀	2332.00		2	東京	2354.33
	3	愛知	1789.0		3	埼玉	1932.50		3	大阪	1797.00		3	埼玉	1736.00		3	京都	1730.50
	4	埼玉	1735.0		4	愛知	1766.00		4	愛知	1663.25		4	大阪	1708.00		4	大阪	1658.00
	5	神奈川	1643.5		5	大阪	1737.50		5	埼玉	1613.00		5	愛知	1677.50		5	愛知	1598.83
	6	大阪	1552.0		6	神奈川	1659.50		6	神奈川	1535.50		6	神奈川	1562.50		6	神奈川	1505.50
	7	千葉	1470.5		7	千葉	1490.75		7	福岡	1456.50		7	京都	1442.00		7	埼玉	1451.00
	8	京都	1410.0		8	福岡	1380.50		8	千葉	1439.00		8	滋賀	1439.00		8	千葉	1450.50
	9	北海道	1397.50		9	北海道	1348.50		9	京都	1436.50		9	千葉	1426.50		9	福岡	1442.50
	10	福井	1391.0		10	京都	1332.50		10	兵庫	1412.00		10	岐阜	1317.50		10	兵庫	1338.00
2	11	福岡	1337.5	1	11	兵庫	1329.00	1	10	佐賀	1412.00		11	北海道	1305.00		11	北海道	1334.00
	12	岡山	1267.0		12	三重	1325.50		12	北海道	1365.00		12	兵庫	1284.50		12	岐阜	1298.00
	13	兵庫	1184.5		13	岐阜	1321.00		13	岐阜	1350.00		13	福岡	1219.50		13	佐賀	1279.50
	14	三重	1181.5		14	鹿児島	1218.50		14	福井	1286.00		14	三重	1192.00		14	福井	1278.50
	15	鹿児島	1151.0		15	長野	1152.50		15	三重	1274.50		15	岡山	1148.00		15	三重	1138.00
	16	長野	1090.0		16	岡山	1135.50		16	栃木	1225.50		16	愛媛	1115.00		16	静岡	1108.50
	17	静岡	1083.5		17	静岡	1116.50		17	滋賀	1196.00		17	長野	1113.00		17	愛媛	1107.00
	18	栃木	1075.50		18	福井	1114.00		18	大分	1091.50		18	福井	1099.50		18	広島	1076.50
	19	岐阜	1060.0		19	茨城	1107.00		19	静岡	1065.50		19	広島	1059.00		19	長野	1075.33
	20	広島	1044.5		20	滋賀	1096.50		20	岡山	1060.00		20	熊本	1054.50		20	岡山	1040.50
3	21	愛媛	1021.5	21	佐賀	1095.75	21	長野	1047.00	21	鹿児島	1054.50	20	栃木	1029.50				
	22	和歌山	997.0	22	群馬	1040.00	22	茨城	997.00	22	静岡	1050.00	22	鹿児島	1010.00				
	23	大分	921.5	23	愛媛	1003.50	23	広島	995.50	23	青森	979.50	23	青森	975.50				
	24	山口	908.0	24	大分	989.00	24	愛媛	974.50	24	茨城	965.00	24	奈良	955.50				
	25	香川	906.0	25	奈良	893.75	25	山口	960.00	25	栃木	958.50	25	大分	930.00				
	26	長崎	903.0	26	広島	893.50	26	群馬	946.00	26	山梨	907.00	26	福島	922.00				
	27	奈良	899.5	27	宮城	886.50	27	宮崎	942.50	27	群馬	906.00	27	熊本	921.50				
	28	宮城	882.5	28	石川	870.50	28	石川	931.00	28	山口	901.50	28	新潟	907.50				
	29	熊本	879.0	29	富山	855.50	29	香川	887.75	29	大分	893.50	29	香川	901.00				
	30	滋賀	870.5	30	岩手	847.50	30	宮城	862.50	30	香川	865.00	30	長崎	898.50				
	31	岩手	850.0	31	秋田	840.50	31	奈良	821.50	31	石川	863.00	2	31	宮崎	891.50			
	32	山形	848.0	32	宮崎	834.50	32	和歌山	818.00	3	32	宮崎	840.00	32	石川	889.00			
	33	佐賀	830.5	33	山梨	816.50	33	岩手	808.50	3	33	山形	838.00	33	宮城	888.00			
	34	新潟	826.50	34	沖縄	804.50	34	山梨	796.50		33	鳥取	838.00	33	鳥取	859.00			
	35	石川	816.5	35	新潟	801.50	35	熊本	794.50		35	新潟	828.00	35	群馬	853.50			
	36	富山	815.5	36	香川	800.00	36	新潟	781.50		36	奈良	826.00	36	山梨	829.50			
	37	山梨	809.0	37	熊本	797.50	37	富山	773.50		37	福島	801.50	37	茨城	822.00			
	38	群馬	789.5	38	山口	781.00	38	沖縄	757.00		38	高知	782.50	38	和歌山	795.50			
	39	福島	783.5	39	和歌山	761.50	39	長崎	752.00		39	宮城	780.00	39	山口	793.00			
	40	島根	725.0	40	山形	761.25	3	40	青森		751.50	40	長崎	767.50	40	富山	790.00		
41	宮崎	718.0	41	福島	733.00	41	秋田	745.50	41		島根	740.00	41	岩手	779.00				
42	沖縄	715.5	42	青森	727.00	42	福島	728.75	42		沖縄	724.00	42	山形	767.00				
43	鳥取	714.0	43	島根	680.00	43	山形	716.50	43	岩手	704.00	43	沖縄	746.00					
44	秋田	707.5	44	鳥取	679.50	44	高知	672.50	44	富山	685.00	44	島根	720.00					
45	青森	694.0	45	長崎	676.00	45	鳥取	655.50	45	秋田	684.00	45	秋田	689.50					
46	高知	630.0	46	高知	673.00	46	島根	630.50	46	徳島	663.00	46	高知	670.00					
47	徳島	614.00	47	徳島	607.00	47	徳島	616.00	47	和歌山	656.00	47	徳島	602.50					

国民スポーツ大会における競技結果の推移

総合順位

	第71回 (H28：岩手)	第72回 (H29：愛媛)	第73回 (H30：福井)	第74回 (R1：茨城)	第77回 (R4：栃木)	特別 (R5：鹿児島)	第78回 (R6：佐賀)	第79回 (R7：滋賀)
天皇杯（男女総合成績）	27	27	20	14	12	15	14	15
皇后杯（女子総合成績）	39	33	20	20	15	14	18	21

入賞数

		第71回 (H28：岩手)	第72回 (H29：愛媛)	第73回 (H30：福井)	第74回 (R1：茨城)	第77回 (R4：栃木)	特別 (R5：鹿児島)	第78回 (R6：佐賀)	第79回 (R7：滋賀)
少年種別	少年男子	19	20	22	32	23	29	24	23
	少年女子	5	5	6	6	10	16	14	15
	小計	24	25	28	38	33	45	38	38
成年種別	成年男子	34	33	37	48	57	42	43	41
	成年女子	8	12	18	20	29	22	25	14
	小計	42	45	55	68	86	64	68	55
計		66	70	83	106	119	109	106	93

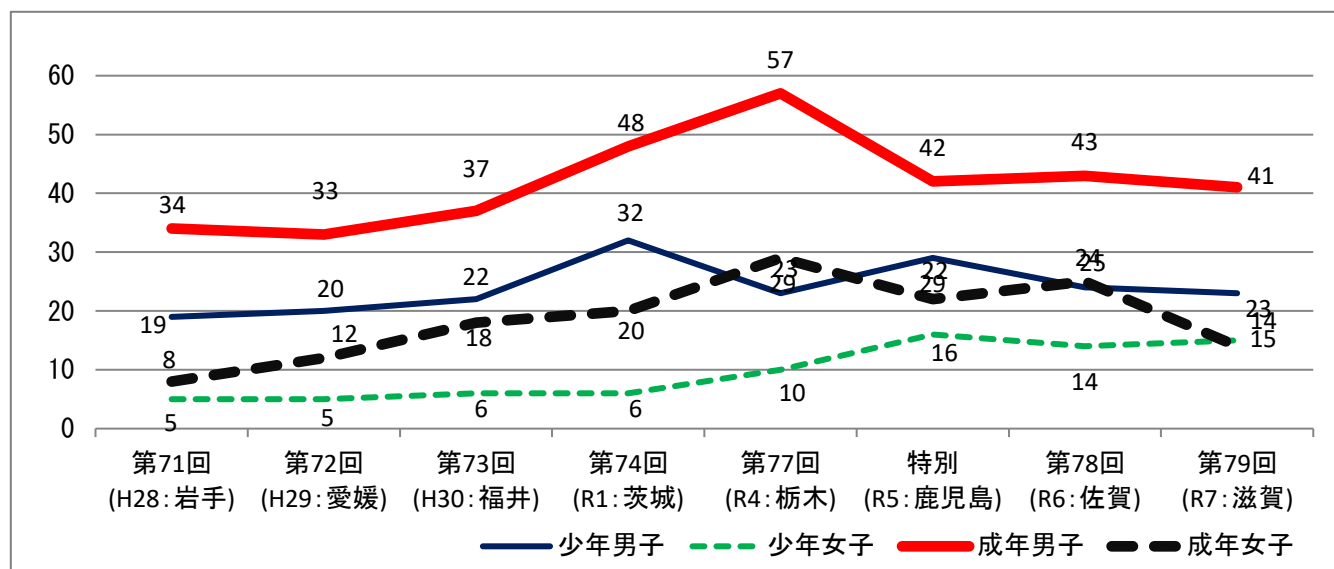
競技得点

		第71回 (H28：岩手)	第72回 (H29：愛媛)	第73回 (H30：福井)	第74回 (R1：茨城)	第77回 (R4：栃木)	特別 (R5：鹿児島)	第78回 (R6：佐賀)	第79回 (R7：滋賀)
少年種別	少年男子	164.5	147.0	92.5	177.5	189.5	231.0	170.0	172.5
	少年女子	39.0	62.5	67.0	69.0	120.5	153.5	133.5	133.0
	小計	203.5	209.5	159.5	246.5	310.0	384.5	303.5	305.5
成年種別	成年男子	236.0	217.0	253.0	335.0	406.0	319.0	332.5	312.5
	成年女子	80.5	92.5	183.0	200.0	209.5	171.0	156.0	120.0
	小計	316.5	309.5	436.0	535.0	615.5	490.0	488.5	432.5
計（参加点除く）		520.0	519.0	595.5	781.5	925.5	874.5	792.0	738.0

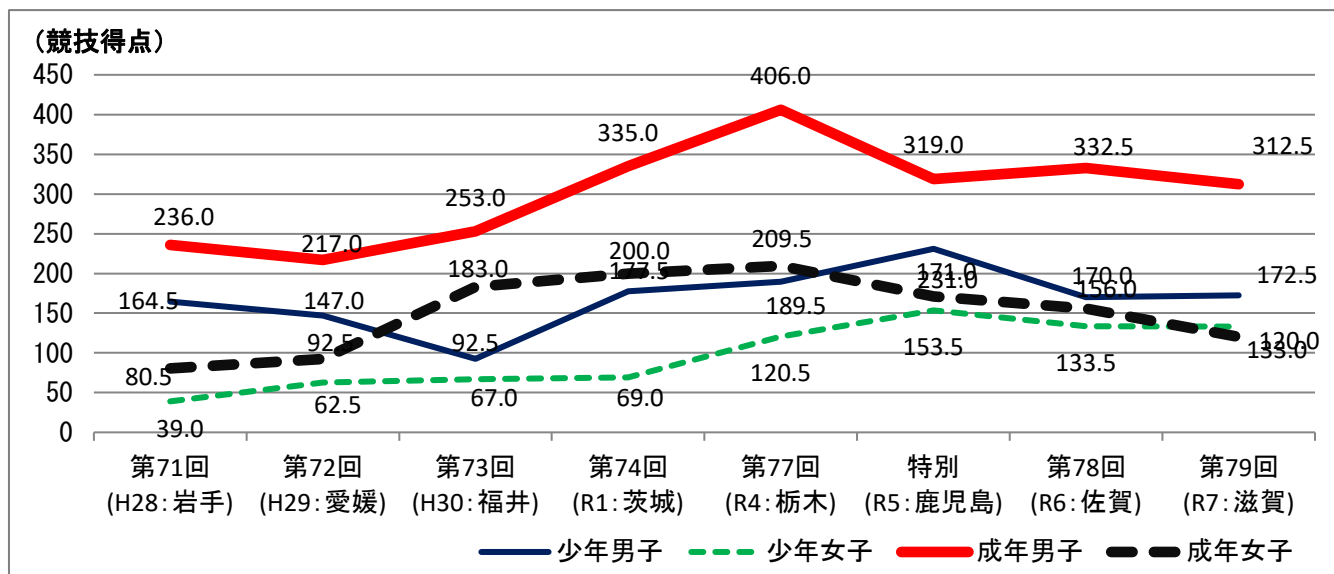
得点割合

		第71回 (H28：岩手)	第72回 (H29：愛媛)	第73回 (H30：福井)	第74回 (R1：茨城)	第77回 (R4：栃木)	特別 (R5：鹿児島)	第78回 (R6：佐賀)	第79回 (R7：滋賀)
少年種別	少年男子	31.6	28.3	15.5	22.7	20.5	26.4	21.5	23.4
	少年女子	7.5	12.0	11.3	8.8	13.0	17.6	16.9	18.0
	小計	39.1	40.4	26.8	31.5	33.5	44.0	38.3	41.4
成年種別	成年男子	45.4	41.8	42.5	42.9	43.9	36.5	42.0	42.3
	成年女子	15.5	17.8	30.7	25.6	22.6	19.6	19.7	16.3
	小計	60.9	59.6	73.2	68.5	66.5	56.0	61.7	58.6
計（参加点除く）		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

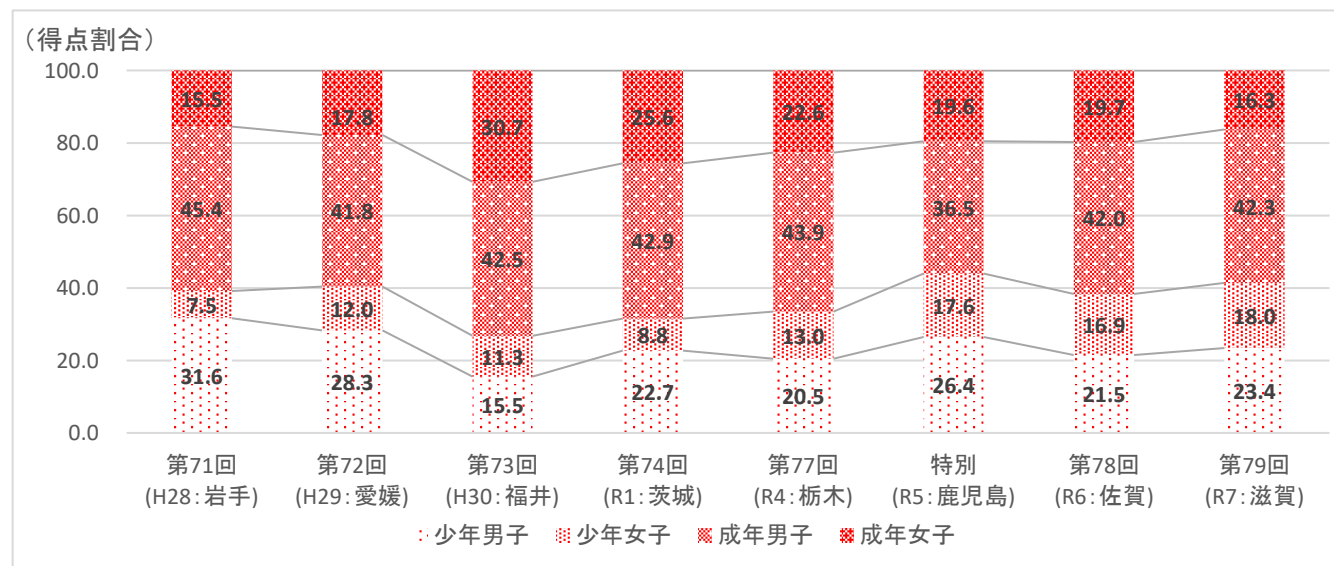
■国民スポーツ大会における入賞件数の推移



■国民スポーツ大会における競技得点の推移



■国民スポーツ大会における得点割合の推移



国民スポーツ大会における成年種別の競技得点の推移(第71回～第79回)

(1)成年男子

■個人種目

	競技名	種別	第71回 (H28)	第72回 (H29)	第73回 (H30)	第74回 (R1)	第77回 (R4)	特別 (R5)	第78回 (R6)	第79回 (R7)
1	陸上競技	成年男子	19	17		27	19	22	24	25
2	水泳(競泳)	成年男子	6	9		16	11	10	14	14
	水泳(飛込)	成年男子	10	11	9	9	3			
	水泳(OWS)	成年男子		2	2					
7	ボクシング	成年男子		5			13			7
9	体操(トランポリン)	男子					3	6		
11	レスリング	成年男子	31	25.5	17.5	15	17.5	10.5	16	18
12	セーリング	成年男子	8	7	7	2	5	6	5	7
13	ウエイトリフティング	成年男子	38	39	19	39	37	38	46	41
15	自転車	成年男子	6				16	16	21	17
20	馬術	成年男子	3	6	7	15	17	19	11	7
26	ライフル射撃	成年男子				7	10	5	7	
30	カヌー	成年男子	7		22	12	23	6	19	32
38	トライアスロン	成年男子					13	5	4	3
39	スケート	成年男子			9	10	4	18	18	11
41	スキー	成年男子	3	1		3			5	
総計			131	122.5	92.5	155	191.5	161.5	190	182.0

■団体種目Ⅰ(個人種目の要素が強い団体種目)

	競技名	種別	第71回 (H28)	第72回 (H29)	第73回 (H30)	第74回 (R1)	第77回 (R4)	特別 (R5)	第78回 (R6)	第79回 (R7)
4	テニス	成年男子	21		12	24				
5	ローイング	成年男子	1							
9	体操(競技)	成年男子	15				15			20
16	ソフトテニス	成年男子	20	35		15		20	15	
17	卓球	成年男子			16.5	7.5	7.5		7.5	7.5
19	相撲	成年男子	21	15	21					
21	フェンシング	成年男子	9	30	6	24	24	15		
22	柔道	成年男子								
24	バドミントン	成年男子								
25	弓道	成年男子	18	12	25.5	33	27		9	
27	剣道	成年男子				12.5				
29	スポーツクライミング	成年男子				18	3		21	21
31	アーチェリー	成年男子								
32	空手道	成年男子		2.5		6	5			
33	銃剣道	成年男子								
34	クレー射撃	成年							15	
36	ボウリング	成年男子			18		15			18
37	ゴルフ	成年男子								
総計			105	94.5	99	140	96.5	35	67.5	66.5

■団体種目Ⅱ

	競技名	種別	第71回 (H28)	第72回 (H29)	第73回 (H30)	第74回 (R1)	第77回 (R4)	特別 (R5)	第78回 (R6)	第79回 (R7)
3	サッカー	成年男子			40					
6	ホッケー	成年男子								
8	バレーボール	成年男子					30	35	35	
10	バスケットボール	成年男子						27.5	40	
14	ハンドボール	成年男子			12.5					
18	軟式野球	成年男子					48			
23	ソフトボール	成年男子						20		64
28	ラグビーフットボール	成年男子				40	40	40		
40	アイスホッケー	成年男子								
総計			0	0	52.5	40	118	122.5	75	64.0

国民スポーツ大会における成年種別の競技得点の推移(第71回～第79回)

(2)成年女子

■個人種目

	競技名	種別	第71回 (H28)	第72回 (H29)	第73回 (H30)	第74回 (R1)	第77回 (R4)	特別 (R5)	第78回 (R6)	第79回 (R7)
1	陸上競技	成年女子	6	10	11	3	10			2
2	水泳 (競泳)	成年女子					5	8	11	
	水泳 (飛込)	成年女子								
	水泳 (OWS)	成年女子								
7	ボクシング	女子								
9	体操(トランポリン)	女子					6	8		
11	レスリング	女子	2.5			2.5	8	5.5	5.5	5.5
12	セーリング	成年女子		6	3	8	7		4	
13	ウエイトリフティング	女子	2	2	15	15	21	16	19	29
15	自転車	女子			4			8	4	
18	馬術	成年女子	15	9	7	15	10	2	3	
24	ライフル射撃	成年女子					8	6		
28	カヌー	成年女子		6	5	6	17	16	9	12
34	トライアスロン	成年女子							1	
35	スケート	成年女子					2	6		
36	スキー	成年女子				4	11	11		7
総計			25.5	33	45	53.5	105	86.5	56.5	55.5

■団体種目Ⅰ(個人種目の要素が強い団体種目)

	競技名	種別	第71回 (H28)	第72回 (H29)	第73回 (H30)	第74回 (R1)	第77回 (R4)	特別 (R5)	第78回 (R6)	第79回 (R7)
4	テニス	成年女子			12	21		12		
5	ローイング	成年女子					10		15	
9	体操(競技)	成年女子								
16	ソフトテニス	成年女子								
17	卓球	成年女子								
19	フェンシング	成年女子	15							
20	柔道	女子								
22	バドミントン	成年女子								
23	弓道	成年女子						21		
25	剣道	成年女子								
27	スポーツクライミング	成年女子		27	36		18	9	15	
29	アーチェリー	成年女子				6			9	
30	空手道	成年女子							2.5	
31	なぎなた	成年女子			6		15			
32	ボウリング	成年女子				43	9		8	27
33	ゴルフ	女子								7.5
総計			15	27	54	70	52	42	49.5	34.5

■団体種目Ⅱ

	競技名	種別	第71回 (H28)	第72回 (H29)	第73回 (H30)	第74回 (R1)	第77回 (R4)	特別 (R5)	第78回 (R6)	第79回 (R7)
2	水泳 (水球)	女子							7.5	
3	サッカー	成年女子	20		64	64				
6	ホッケー	成年女子								
8	バレーボール	成年女子								
10	バスケットボール	成年女子								
14	ハンドボール	成年女子		12.5		12.5	12.5	12.5	12.5	
21	ソフトボール	成年女子								
26	ラグビーフットボール	女子	20	20	20		40	30	30	30
総計			40	32.5	84	76.5	52.5	42.5	50	30.0

国民スポーツ大会における少年種別の競技得点の推移(第71回～第79回)

(1)少年男子

■個人種目

	競技名	種別	第71回 (H28)	第72回 (H29)	第73回 (H30)	第74回 (R1)	第77回 (R4)	特別 (R5)	第78回 (R6)	第79回 (R7)
1	陸上競技	少年男子	6	10	23.5	27	10	7.5	10.5	23.5
2	水泳(競泳)	少年男子	16	11		1		2		
	水泳(飛込)	少年男子					2	1		2.0
7	ボクシング	少年男子				2.5				
11	レスリング	少年男子	17.5	27	23	18.5	26.5	17.5	15.5	12.0
12	セーリング	少年男子	9	17	2	23	26	5	29	24
13	ウエイトリフティング	少年男子	42	16	31	27	29	32	17	29
15	自転車	少年男子	6			5		7		
20	馬術	少年	4			7	21	22	5	7
26	ライフル射撃	少年男子							9	
30	カヌー	少年男子			3			3		1.0
39	スケート	少年男子								
41	スキー	少年男子								
総計			100.5	81	82.5	111	114.5	97	86	98.5

■団体種目Ⅰ(個人種目の要素が強い団体種目)

	競技名	種別	第71回 (H28)	第72回 (H29)	第73回 (H30)	第74回 (R1)	第77回 (R4)	特別 (R5)	第78回 (R6)	第79回 (R7)
4	テニス	少年男子				18			6	
5	ローイング	少年男子						1		
9	体操(競技)	少年男子			10	15				
	体操(新体操)	少年男子							15	35
16	ソフトテニス	少年男子	40					25	25	
17	卓球	少年男子							7.5	
19	相撲	少年男子								
21	フェンシング	少年男子								
22	柔道	少年男子								
24	バドミントン	少年男子								
25	弓道	少年男子		30						
27	剣道	少年男子								
29	スポーツクライミング	少年男子					36	18	18	21
31	アーチェリー	少年男子				21	24			
32	空手道	少年男子								
33	銃剣道	少年男子					15	9		
36	ボウリング	少年男子	24					23		18.0
37	ゴルフ	少年男子		21						
総計			64	51	10	54	75	76	71.5	74.0

■団体種目Ⅱ

	競技名	種別	第71回 (H28)	第72回 (H29)	第73回 (H30)	第74回 (R1)	第77回 (R4)	特別 (R5)	第78回 (R6)	第79回 (R7)
2	水泳(水球)	少年男子		15		13		40.0	12.5	
3	サッカー	少年男子								
6	ホッケー	少年男子								
8	バレーボール	少年男子								
	ビーチバレーボール	少年男子						18.0		
10	バスケットボール	少年男子								
14	ハンドボール	少年男子								
23	ソフトボール	少年男子								
28	ラグビーフットボール	少年男子								
40	アイスホッケー	少年男子								
総計			0	15	0	13	0	58	12.5	0.0

国民スポーツ大会における少年種別の競技得点の推移(第71回～第79回)

(2)少年女子

■個人種目

	競技名	種別	第71回 (H28)	第72回 (H29)	第73回 (H30)	第74回 (R1)	第77回 (R4)	特別 (R5)	第78回 (R6)	第79回 (R7)
1	陸上競技	少年女子	3	5	7	6	11	26	18	19
2	水泳（競泳）	少年女子	2					1	7	14
	水泳（飛込）	少年女子					6	2	6	5
	アーティスティックスイミング	少年女子					6		6	12
12	セーリング	少年女子		4						12
26	ライフル射撃	少年女子	1							
28	カヌー	少年女子								
35	スケート	少年女子								
36	スキー	少年女子								
総計			6	9	7	6	23	29	37	62.0

■団体種目Ⅰ（個人種目の要素が強い団体種目）

	競技名	種別	第71回 (H28)	第72回 (H29)	第73回 (H30)	第74回 (R1)	第77回 (R4)	特別 (R5)	第78回 (R6)	第79回 (R7)
4	テニス	少年女子	3	6	12			21		
5	ローイング	少年女子			5					
9	体操（競技）	少年女子					25	5	10	5
	新体操	少年女子								
16	ソフトテニス	少年女子	30	35		15	35	25	30	
17	卓球	少年女子					7.5			
19	フェンシング	少年女子								
22	バドミントン	少年女子								
23	弓道	少年女子							3	
25	剣道	少年女子								
27	スポーツクライミング	少年女子						21		30
29	アーチェリー	少年女子								
30	空手道	少年女子								
31	なぎなた	少年女子			3	3				21
32	ボウリング	少年女子						25	26	15
33	ゴルフ	少年女子								
総計			33	41	20	18	67.5	97	69	71.0

■団体種目Ⅱ

	競技名	種別	第71回 (H28)	第72回 (H29)	第73回 (H30)	第74回 (R1)	第77回 (R4)	特別 (R5)	第78回 (R6)	第79回 (R7)
3	サッカー	少年女子								
6	ホッケー	少年女子								
8	バレーボール	少年女子					17.5			
	ビーチバレーボール	少年女子						15	15	
10	バスケットボール	少年女子								
14	ハンドボール	少年女子		12.5	40	25	12.5	12.5	12.5	
21	ソフトボール	少年女子				20				
総計			0	12.5	40	45	30	27.5	27.5	0.0

国民スポーツ大会第46回東海ブロック大会成績一覧表

参考資料4

<R7年度・静岡県開催>

No.	競技名	種別	種目	選手数	参考前回		代表	愛知	静岡	岐阜	三重
1	水泳	少年男子	水球	11	2	→	1	3	4	①	2
		女子	水球	11	1	→	1	4	3	①	2
		少年女子	AS	2	2	→	2	②	－	－	①
2	サッカー	成年男子		18	-	→	2	3	②	①	3
		少年男子		18	2	→	2	②	①	3	3
		少年女子		18	1	→	2	①	②	3	3
3	テニス	成年男子		2	2	→	2	3	①	4	②
		成年女子		2	3	→	3	③	②	4	①
		少年男子			-	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		少年女子			-	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
4	ローイング	成年男子	舵手付フォア	6	2	→	2	①	4	②	3
			ダブルスカル		-	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
			シングルスカル	1	2	→	2	3	②	①	4
		成年女子	舵手付クワドルプル	6	2	→	2	①	3	②	4
			ダブルスカル	2	2	→	1	①	4	2	3
			シングルスカル	1	2	→	2	①	4	②	3
		少年男子	舵手付クワドルプル	6	2	→	2	3	①	②	4
			ダブルスカル	2	2	→	2	4	①	②	3
			シングルスカル	1	1	→	2	3	①	②	4
		少年女子	舵手付クワドルプル	6	2	→	2	3	②	①	4
ダブルスカル	2		1	→	1	2	3	①	4		
シングルスカル	1		1	→	2	4	②	①	3		
5	ホッケー	成年男子		18	1	→	1	2	3	①	3
		成年女子		18	1	→	1	2	3	①	3
		少年男子		18	1	→	1	3	2	①	3
		少年女子		18	1	→	1	2	3	①	3
6	ボクシング	成年男子		5	-	→	2	3	②	4	①
		成年女子		1	-	→	1	3	－	①	2
		少年男子		5	-	→	2	②	4	①	3
7	バレーボール	成年男子	6人制	14	1	→	1	3	①	2	3
		成年女子	6人制	14	1	→	1	3	2	①	3
		少年男子	6人制	12	2	→	2	①	②	3	4
		少年女子	6人制	12	2	→	2	3	①	4	②
		少年男子	ビーチ	2	2	→	2	①	②	4	3
		少年女子	ビーチ	2	2	→	2	②	①	3	4
8	体操	成年男子	競技	5	1	→	1	3	2	4	①
		成年女子	競技	5	1	→	1	①	2	4	3
		少年男子	競技	5	2	→	2	3	②	①	4
			新体操	7	1	→	1	3	4	2	①
		少年女子	競技	5	2	→	2	①	4	3	②
			新体操	7	2	→	2	①	②	3	4
		男子	トランポリン	1	1	→	1	2	①	4	3
女子	トランポリン	1	1	→	1	3	①	－	2		
9	バスケットボール	成年男子		11	2	→	1	①	3	3	2
		成年女子		12	2	→	1	3	①	2	3
		少年男子		12	2	→	2	①	②	3	4
		少年女子		12	2	→	2	①	4	②	3
10	ウェイトリフティング	成年男子		9	3	→	3	③	4	②	①
		女子			-	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		少年男子		9	2	→	2	3	4	②	①
11	ハンドボール	成年男子		15	2	→	2	①	4	②	3
		成年女子		15	1	→	2	①	4	②	3
		少年男子		15	2	→	2	①	4	3	②
		少年女子		15	3	→	2	②	4	3	①
12	ソフトテニス	成年男子		5	-	→	1	①	4	2	3
		成年女子			2	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		少年男子		5	2	→	1	①	3	4	2
		少年女子		5	1	→	2	②	4	3	①
13	卓球	成年男子			2	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		成年女子		3	－	→	2	①	②	3	4
		少年男子		3	3	→	1	①	3	4	2
		少年女子		3	1	→	3	①	②	4	③
14	軟式野球	成年		15	3	→	2	②	①	4	3
15	馬術	※ 自馬競技		17	18	→	18	3	4	8	3
		少年	団体障害		1	→	1	3	4	①	2
小計① (15 馬術:自馬競技除く)				472	93		97	30	26	27	14

No.	競技名	種別	種目	選手数	参考前回		代表	愛知	静岡	岐阜	三重
16	フェンシング	成年男子			-	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		成年女子		4	1	→	2	②	4	①	3
		少年男子		4	1	→	1	①	3	2	4
		少年女子		4	2	→	1	2	3	①	4
17	柔道	成年男子		5	1	→	1	①	2	4	3
		女子			2	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		少年男子		5	-	→	2	①	②	4	3
18	ソフトボール	成年男子		15	1	→	1	3	3	2	①
		成年女子		16	1	→	1	3	3	①	2
		少年男子		16	1	→	1	①	2	3	3
		少年女子		16	1	→	1	3	2	①	3
19	バドミントン	成年男子		3	1	→	2	②	3	①	4
		成年女子		3	-	→	1	2	4	①	3
		少年男子		3	3	→	1	①	4	3	2
		少年女子			1	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
20	弓道	成年男子		3	2	→	2	②	4	3	①
		成年女子		3	2	→	2	②	3	①	4
		少年男子		3	2	→	2	3	②	①	4
		少年女子		3	2	→	2	4	①	②	3
21	ライフル射撃	成年男子	FR3X20	1	1	→	2	3	-	①	②
			FR60PR	1	1	→	1	4	①	3	2
			AR60		3	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
			AP60	1	3	→	3	③	①	②	4
			CFP60		-	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		成年女子	R3X20	1	1	→	1	2	3	①	-
			AR60W	1	-	→	2	3	4	①	②
			AP60W	1	2	→	2	②	-	①	3
		少年男子	AR60J	1	3	→	3	②	-	①	③
			BR60J	1	-	→	2	4	②	①	3
			BP60J	1	1	→	2	①	4	②	3
		少年女子	AR60WJ	1	2	→	2	②	3	①	-
			BR60WJ		2	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
BP60WJ	1		1	→	2	①	3	②	4		
22	剣道	成年男子			-	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		成年女子		3	1	→	1	①	2	4	3
		少年男子		5	1	→	1	3	①	4	2
		少年女子		5	1	→	1	3	2	4	①
23	ラグビーフットボール	成年男子 (7人制)	10	1	→	1	①	4	3	2	
		女子 (7人制)	10	1	→	1	3	2	4	①	
		少年男子	23	1	→	1	①	3	2	3	
24	スポーツクライミング	成年男子	リード・ボルダリング		1	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		成年女子	リード・ボルダリング	2	2	→	1	①	2	4	3
		少年男子	リード・ボルダリング	2	-	→	2	②	3	4	①
		少年女子	リード・ボルダリング	2	1	→	2	3	①	4	②
25	カヌー	成年男子	K-1(カヤックS)	1	2	→	2	①	3	②	4
			C-1(カナデミアンS)	1	2	→	2	①	②	-	-
			スラローム(カヤックS)	1	2	→	2	3	4	②	①
			スラローム(カナデミアンS)	1	1	→	1	-	-	2	①
			ワイルドウォーター	1	1	→	1	3	-	①	2
		成年女子	K-1(カヤックS)	1	2	→	2	①	②	-	-
			C-1(カナデミアンS)	1	1	→	1	①	-	-	2
			スラローム(カヤックS)	1	2	→	2	②	-	①	-
			スラローム(カナデミアンS)	1	1	→	1	-	-	-	①
			ワイルドウォーター	1	1	→	1	-	-	①	-
		少年男子	K-1(カヤックS)	1	2	→	2	②	4	①	3
			K-2(カヤックP)	2	1	→	1	①	3	2	4
			C-1(カナデミアンS)	1	2	→	2	①	3	-	②
			C-2(カナデミアンP)	2	1	→	1	①	2	-	-
		少年女子	K-1(カヤックS)	1	2	→	2	①	②	3	4
K-2(カヤックP)	2		1	→	1	①	2	3	4		
K-4(カヤックフォア)	4		-	→	1	①	-	-	-		
小計②				202	78		81	32	11	25	13

No.	競技名	種別	種目	選手数	参考前年		代表	愛知	静岡	岐阜	三重
26	アーチェリー	成年男子		3	2	→	1	①	2	3	4
		成年女子		3	2	→	1	3	①	2	4
		少年男子		3	1	→	2	①	②	4	3
		少年女子		3	1	→	2	4	②	①	3
27	空手道	成年男子	組手(個人・団体)		-	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
			形	1	3	→	2	②	4	3	①
		成年女子	組手(個人・団体)		-	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
			形	1	2	→	3	②	③	①	4
		少年男子	組手(個人・団体)		-	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
			形	1	3	→	2	3	①	②	4
		少年女子	組手(個人・団体)		-	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
			形	1	2	→	3	③	②	①	4
28	銃剣道	成年男子			-	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		少年男子		4	1	→	1	－	①	2	3
29	なぎなた	成年女子	演技・試合		-	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		少年女子	演技		-	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
			試合	3	3	→	3	①	4	③	②
30	ボウリング	成年男子		4	2	→	2	3	①	4	②
		成年女子		4	2	→	2	②	3	4	①
		少年男子		2	2	→	2	②	3	4	①
		少年女子		2	2	→	2	①	3	－	②
31	ゴルフ	成年男子			-	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		女子			-	→	-	ストレート	ストレート	ストレート	ストレート
		少年男子		3	2	→	2	②	3	4	①
小計③				38	30		30	10	8	5	7
合計(①+②+③)				712	201		208	72	45	57	34

(注1)各県欄の数字は順位。○数字が代表権獲得県。

※ブロック大会を実施しない競技・・・陸上、水泳(競泳、飛込、OWS)、レスリング、セーリング、自転車、相撲、トライアスロン

【通過数の内訳】

【順位ごとの通過数及び出場枠占有率】

	1位(突破率)		2位(突破率)		3位(突破率)		合計(突破率)	
愛知県	46	37%	22	30%	4	50%	72	35%
静岡県	21	17%	23	31%	1	13%	45	22%
岐阜県	38	30%	18	24%	1	13%	57	27%
三重県	21	17%	11	15%	2	25%	34	16%
合計	208種目 (馬術：自馬競技の4県枠除く)							

		成年男子			成年女子			少年男子			少年女子		
愛知県	①通過	9	15	31%	10	17	36%	16	23	38%	11	17	33%
	②通過	4			6			7			5		
	③通過	2			1			0			1		
静岡県	①通過	7	11	22%	4	8	17%	6	14	23%	4	12	24%
	②通過	4			3			8			8		
	③通過	0			1			0			0		
岐阜県	①通過	6	12	24%	14	17	36%	9	15	25%	9	13	25%
	②通過	6			3			6			3		
	③通過	0			0			0			1		
三重県	①通過	8	11	22%	4	5	11%	6	9	15%	3	9	18%
	②通過	3			1			2			5		
	③通過	0			0			1			1		
合計			49			47			61			51	

【出場枠占有率の推移】

国体（ブロック回数）		愛知県		静岡県		岐阜県		三重県		通過枠合計	
令和7年	滋賀県（第46回）	72種目（34.6%）		45種目（21.6%）		57種目（27.4%）		34種目（16.3%）		208種目	
令和6年	佐賀県（第45回）	65種目（31.9%）		37種目（18.1%）		54種目（26.5%）		48種目（23.5%）		204種目	
令和5年	鹿児島県（第44回）	56種目（28.1%）		37種目（18.6%）		58種目（29.1%）		48種目（24.1%）		199種目	
令和4年	栃木県（第43回）	60種目（30.5%）		39種目（19.8%）		49種目（24.9%）		49種目（24.9%）		197種目	
令和3年	三重県（第42回）	70種目（47.0%）		31種目（20.8%）		48種目（32.2%）		開催県（全種別参		149種目	
令和2年	鹿児島県（第41回）		新型コロナウイルス感染症の影響により中止								
令和元年	茨城県（第40回）	76種目（38.6%）		34種目（17.3%）		47種目（23.9%）		40種目（20.3%）		197種目	
平成30年	福井県（第39回）	63種目（32.5%）		44種目（22.7%）		56種目（28.9%）		31種目（16.0%）		194種目	
平成29年	愛媛県（第38回）	67種目（34.0%）		40種目（20.3%）		57種目（28.9%）		33種目（16.8%）		197種目	
平成28年	岩手県（第37回）	70種目（35.5%）		40種目（20.3%）		57種目（28.9%）		30種目（15.2%）		197種目	
平成27年	和歌山県（第36回）	69種目（36.9%）		39種目（20.9%）		48種目（25.7%）		31種目（16.6%）		187種目	
平成26年	長崎県（第35回）	68種目（36.0%）		36種目（19.0%）		61種目（32.3%）		24種目（12.7%）		189種目	
平成25年	東京都（第34回）	66種目（35.3%）		39種目（20.9%）		60種目（32.1%）		22種目（11.8%）		187種目	
平成24年	岐阜県（第33回）	75種目（49.3%）		48種目（31.6%）		開催県（全種別参		29種目（19.1%）		152種目	
平成23年	山口県（第32回）	68種目（35.2%）		34種目（17.6%）		63種目（32.6%）		28種目（14.5%）		193種目	
平成22年	千葉県（第31回）	62種目（33.0%）		43種目（22.9%）		61種目（32.4%）		22種目（11.7%）		188種目	
平成21年	新潟県（第30回）	67種目（35.4%）		39種目（20.6%）		62種目（32.8%）		21種目（11.1%）		189種目	
平成20年	大分県（第29回）	70種目（36.5%）		45種目（23.4%）		52種目（27.1%）		25種目（13.0%）		192種目	

(注2)15 馬術：自馬競技は、国スポへの出場選手数を代表数として計算。

※14 馬術： 自馬競技代表数内訳	代表	愛知	静岡	岐阜	三重
成年男子 代表数	7	1	2	3	1
成年女子 代表数	5	1	1	2	1
少年 代表数	6	1	1	3	1
小計	18	3	4	8	3

総計 (合計+※14 馬術)	代表	愛知	静岡	岐阜	三重
	226	75	49	65	37

令和 7 年度スポーツ指導員に係る競技実績

No.	名前	競技名	滋賀国スポ			その他
			東海ブロック大会 結果(○or×or S)	競技結果	獲得 得点	R7競技結果 (全日本選手権等)
1	阪本 祐也	水泳（競泳）	S	100mバタフライ：8 位 メドレーリレー4×100m：1 4 位	1. 0	
2	須永 大護	ボクシング	○：1 位	ミドル級：2 位	7. 0	【日本代表（男子7 5 K g 級）】 ワールドボクシングチャレンジグランプリ（チェコ）3 位
3	高松 勇介	バスケットボール	×：敗退		0. 0	※2025-26 B・LEAGUE【B 3・第3節】10/11～
4	溝口 秀人		×：敗退			
5	アブ フィリップ		×：敗退			
6	萩原 奨太		×：敗退			
7	佐脇 考哉		×：敗退			
8	山本 元喜	自転車	S	個人ロードレース：7 位 4kmチーム・パ ーシュート：2 2 位 ポイントレース：1 5 位	2. 0	グランプリ・シェドラ・エンシェントシティ リタイア ツアー・オブ・メルシン 最終成績7 4 位 東日本ロードクラシック 3 位 ツール・ド・熊野 総合4 9 位 ツアー・オブ・ジャパン 総合6 6 位 全日本選手権 ロードレース 2 位 JBCF山陽建設 広島三原ロードレース 9 位 広島トヨタ 広島クリテリウム 3 5 位 THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2025 6 2 位
9	伊澤 将也		S	1kmタイムトライアル：1 位 スプリント：2 位 4kmチーム・パ ーシュート：2 2 位 チームスプリント：2 3 位	15. 0	JBCFおんたけタイムトライアル(5/17)： 8位 JBCF東日本トラック 4km1P3位，スプリント2位 関西トラックフェスタ第4戦 200mFTT 1 位，1kmTT1位， ケイリン 1 位，4km速度競走2位 全日本選手権男子エリート チームパーシュート3位 4km個人パーシュート2位
10	松平 健太	卓球	S	団体戦（3 人チーム）：5 位	7. 5	日本卓球リーグ香川大会男子2 部2 位 全日本実業団2 位
11	齋藤 康祐	カヌー（スラローム）	○：1 位	K-1 (25ゲート)：1 位 K-1 (15ゲート)：1 位	16. 0	日本代表選考会 最終選考ランキング 5位 JAPANGUP第2戦 13位 令和7年度日本カヌースラローム選手権大会 カヤックシングル 3位 第48回NHK杯全日本カヌースラローム競技大会 カヤックシングル 4位
12	齋藤 彰太		○：1 位	C-1 (25ゲート)：1 位 C-1 (15ゲート)：1 位	16. 0	2025年ナショナルチーム、U23日本代表 令和7年度日本カヌースラローム選手権大会 カナディアンシングル 3位 U23世界選手権大会（フランス） 30位 第48回NHK杯全日本カヌースラローム競技大会 カナディアンシングル 1位 カヌースラローム世界選手権 50位
13	入江 菜々美	ボウリング	○：1 位	団体戦（2 人チーム）：1 位 個人戦：6 位	27. 0	NHK杯選拔選手権大会 4 位 東日本選手権大会8 位 内閣総理大臣杯・文部科学大臣杯 第54回全国都道府県対抗ボウリング選手権大会 男女混合2人チーム戦 2位 男女混合4人チーム戦 1位
14	前田 凌輔	トライアスロン	S	6 位	3. 0	アジアカップ ブトラジャヤ（マレーシア）3 位 アジアカップ スービックベイ（フィリピン）3 位 第31回日本トライアスロン選手権 10位

令和 7 年度大学運動部、企業・クラブチーム強化指定チームに係る競技実績

No.	チーム名	種別	競技名	滋賀国スポ		
				東海ブロック大会 結果（○or×or S）	競技結果	獲得得点
1	伊賀 F C くノ一三重	女子	サッカー		成年男子の隔年開催のため	0.0
2	三重クラブ	男子	ホッケー	×：3 位	不出場	0.0
3	三重クラブ	女子	ホッケー	×：4 位	不出場	0.0
4	ヴィアティン三重	男子	バレーボール	×：3 位	不出場	0.0
5	ヴィアティン三重	女子	バレーボール	×：3 位	不出場	0.0
6	相好体操クラブ	男女	体操 （競技）	○：1 位（成年男子） ×：3 位（成年女子）	5 位（日高大輝 佐々木郁哉 平野竣介 泉谷敬志）	20.0
7	相好トランポリンクラブ	男女	体操 （トランポリン）	×：3 位（男子） ×：2 位（女子）	不出場	0.0
8	ヴィアティン三重	男子	バスケットボール	×：2 位	不出場	0.0
9	三重バイオレットアイリス	女子	ハンドボール	×：3 位	不出場	0.0
10	ヨシザワ	男子	ソフトテニス	×：3 位	不出場	0.0
11	エクセディ女子卓球部	女子	卓球	×：4 位	不出場	0.0
12	北勢ライディングファーム	男女	馬術	○：1 9 位（総合成績）	成男ダービー：6 位 （中村勇） 成女ダービー：14 位 （中村洋子）	3.0
13	三重ヴェルデウィン	男子	ソフトボール	○：1 位	1 位	64.0
14	三重県警察	男女	ライフル射撃	S	成男CFP30:15位 成男CFP60:26位 （水越貴之）	0.0
15	三重県警察	男子	剣道	S	浜口浩伸 木村雅志 佐藤建太 水谷晃	0.0
16	P E A R L S	女子	ラグビーフットボール	○：1 位	3 位	30.0

令和7年度トップアスリート就職支援事業活用者に係る競技実績（滋賀国スポ入賞者）

名前	所属	競技名		順位	得点
櫻庭 佑輔	(公財) 四日市スポーツ協会	ソフトボール		1 位	64
酒井 匠	水ingAM(株)				
井上 匠	松阪興産(株)				
新井 優太	パナソニックEW電材三重(株)				
庵奥 里愛	住友電装(株)	ラグビーフットボール		3 位	30
古屋 みず希					
須田 倫代					
木下 そよ香					
勝島 朱夏里					
末 結希					
三輪 里佳	九鬼産業(株)				
横山 太偉雅	(株)日商	ウエイトリフティング	+109kg級クリーン&ジャーク	2 位	7
			+109kg級スナッチ	3 位	6
山本 真鼓	鈴鹿大学	ウエイトリフティング	59kg級スナッチ	2 位	7
			59kg級クリーン&ジャーク	4 位	5
藤井 南帆	鈴鹿回生病院	カヌー(スローム)	カナディアンシングル25ゲート	3 位	6
			カナディアンシングル15ゲート	3 位	6
柳川 友章	(株)エルテックス	ウエイトリフティング	89kg級クリーン&ジャーク	5 位	4
石黒 智基	津田スイミングスクール	水泳(競泳)	フリール-4×50m	6 位	3

令和7年度パラリンピック等強化指定選手に係る競技実績

※入賞件数は、各年度の10月31日時点のもの

No.	名前	競技名	指定 区分	国 際 大 会			国内主要大会 （日本選手権・ジャパンパラ競技会）				
				主たる成績	入賞 件数	（参考） R6 入賞件数	主たる成績	入賞 件数	（参考） R6 入賞件数		
1	稲垣 克明	陸上 （T63クラス）	S	（なし）	0	1	2025ジャパンパラ陸上競技大会 T63 100m 2位、走幅跳 2位	4	3		
2	前川 楓	陸上 （T63クラス）	S	世界パラ陸上競技選手権大会 T63 走幅跳 7位、100m 8位	4	3	2025ジャパンパラ陸上競技大会 T63 走幅跳 1位、 100m 2位	4	2		
3	井谷 俊介	陸上 （T64クラス）	S	（なし）	0	2	2025ジャパンパラ陸上競技大会 T64 100m 1位、200m 1位	3	4		
4	伊藤 智也	陸上 （T52クラス）	S	世界パラ陸上競技選手権大会 T52 400m 3位	1	4	2025ジャパンパラ陸上競技大会 T52 100m 2位、400m 2位	7	3		
5	菰方 里菜	テニス	S	ポーランドデフテニスオープン2025 女子シングルス 1位	2	3	第9回JDTA選手権大会 女子シングルス 1位	3	1		
6	岡田 和也	射撃	S	Changwon 2025 WSPS World Cup R3（10mエアライフル伏射混合SH1） 2位	3	0	（なし）	0	2		
7	望月 貴裕	射撃	S	Changwon 2025 WSPS World Cup R6（50mエアライフル伏射混合SH1） 3位	1	2	2025年度第6 回春季パラ射撃競技会 R 1 1位、R 6 1位、R 7 1位	3	3		
8	渡辺 健太	レスリング	S	（なし） ※東京2025デフリンピック（11月）	0	0	（なし）	0	0		
9	坂倉 航季	水泳 （S14/SB14/SM14）	A	（なし）	0	0	2025ジャパンパラ水泳競技大会 男子200m個人メドレー 7位	3	4		
10	齋田 悟司	車いすテニス	A	DUNLOP KOBE OPEN 2025 男子メインダブルス 8位	1	2	（なし）	0	0		
11	長谷川 勝久	テコンドー	A	（なし）	0	0	（なし） ※全日本テコンドー選手権大会（1月）	0	1		
12	保田 明日美	陸上 （T63クラス）	A	（なし）	0	0	日本パラ陸上競技選手権大会 T 63 100m 3位、200m 1位、走幅跳 3位	3	6		
13	相澤 稜翔	水泳 （S9/SB9）	A	（なし）	0	0	2025ジャパンパラ水泳競技大会 男子100m平泳ぎ 1位、50m自由形 5位	2	2		
14	玉津 徹也	卓球	A	（なし）	0	0	第17回全日本パラ卓球選手権大会 車いす男子シングルス 8位 車いす男子ダブルス 3位	2	1		
					合計	12	17		合計	34	32

【参考】

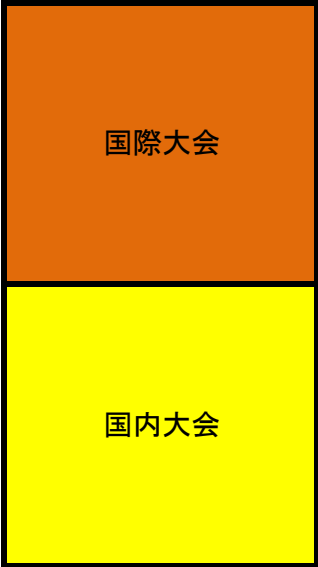
※入賞件数は、各年度の10月31日時点のもの				
項 目	年 度	目 標 数	入 賞 件 数	備 考
パラアスリートの全国大会の入賞数 (ジャパンパラ競技大会・日本選手権が対象)	令和4年度	36件	25件	最終的な入賞件数は 33件
	令和5年度	38件	21件	入賞件数が昨年を下回っていることは、①各競技でアジア競技大会が実施されたこと②全日本パラ射撃選手権が9月から11月に実施月が変更されたことが要因として考えられる
	令和6年度	39件	29件	入賞件数が昨年を上回っていることは、①選手の競技力が向上したこと②パラリンピック出場選手が調整のため、不参加があったことが要因として考えられる
	令和7年度	40件	34件	入賞件数が昨年を上回っていることは、①選手の競技力が向上したこと、②昨年はパラリンピック出場に向けた+J16調整のため全国大会に不参加だった選手が今年は全国大会に出場したことが要因として考えられる

【図1 パラスポーツの競技大会について】

競技性（高）

↑

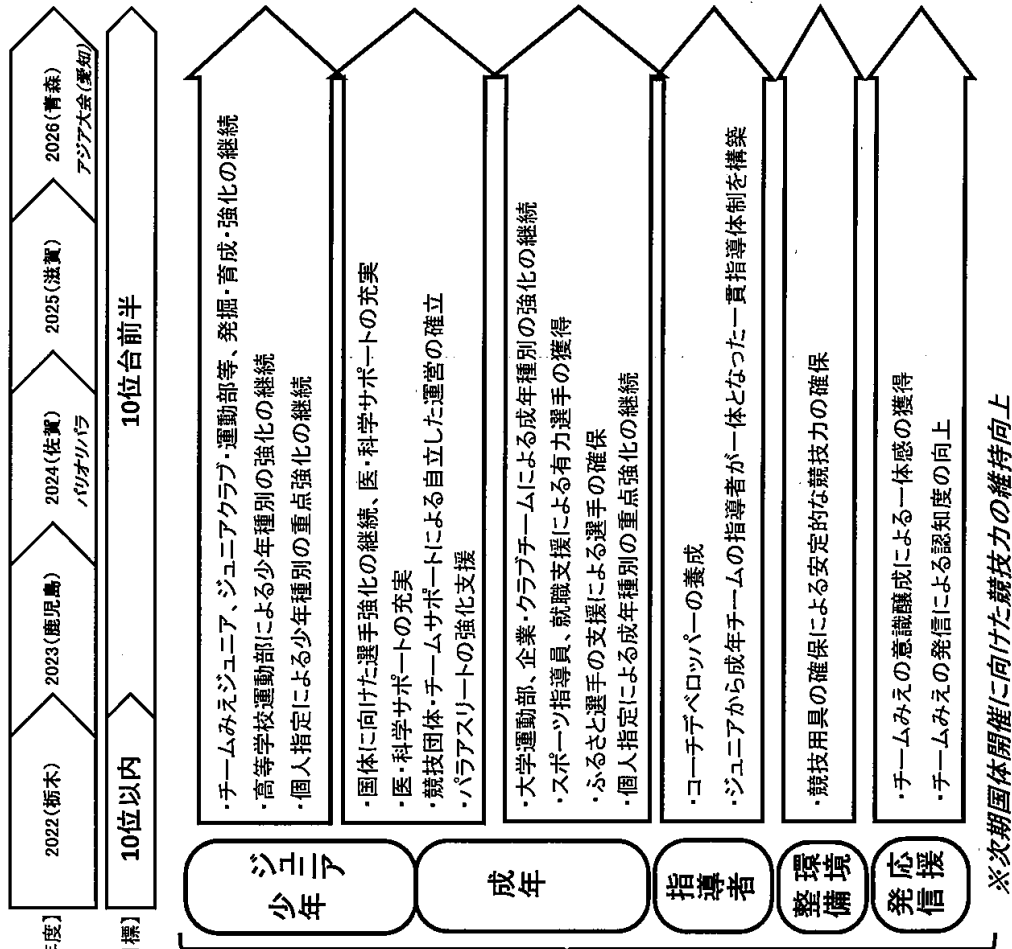
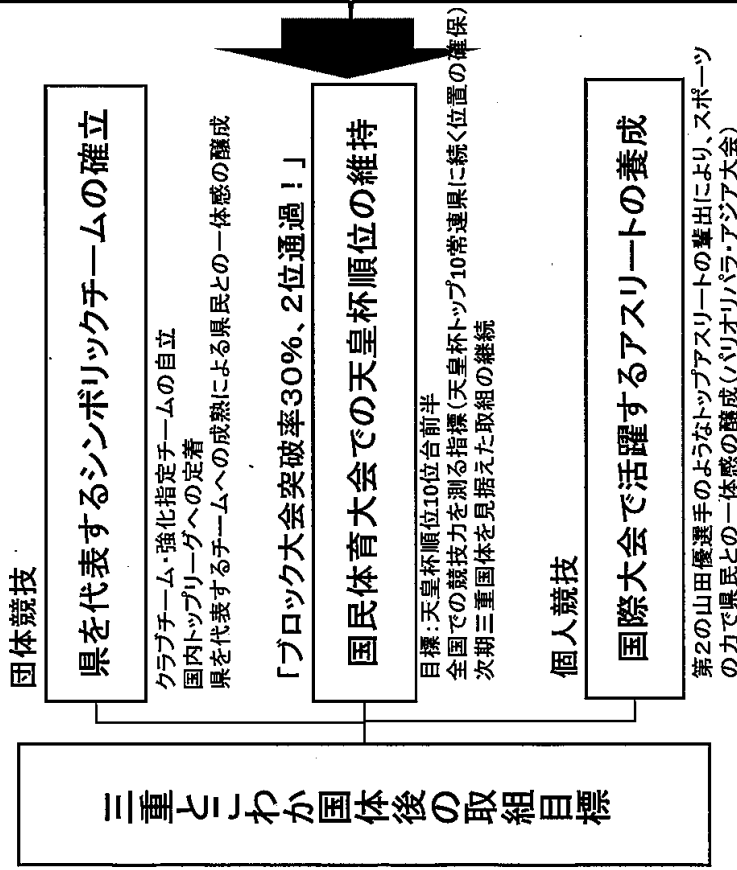
競技性（低）



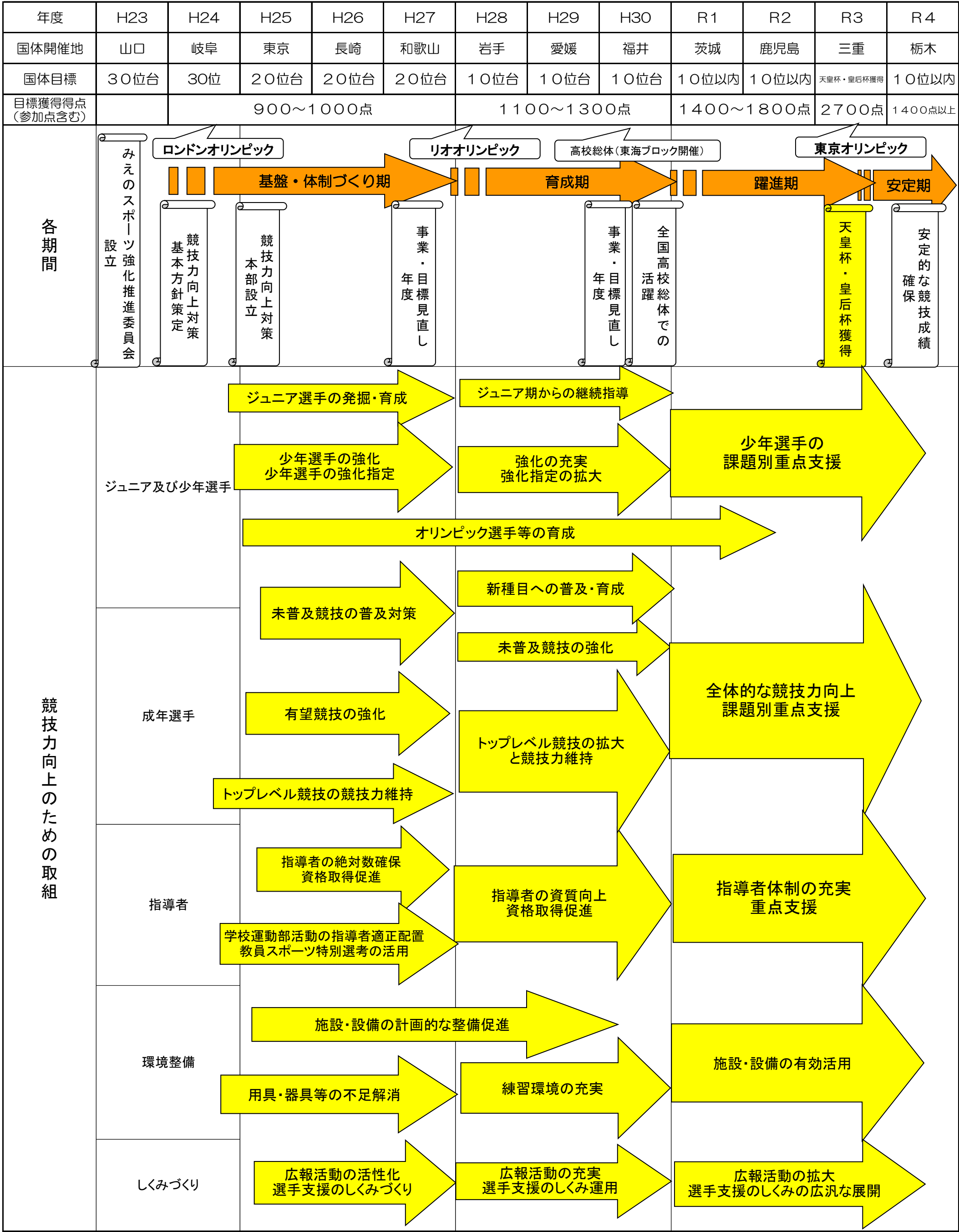
- ・パラリンピック・アジアパラリンピック（肢体不自由・視覚障がい・知的障がい）
- ・デフリンピック（聴覚障がい）
- ・Vietusグローバスゲームス（知的障がい）※パラリンピック種目以外の競技もあり
- ・IBSA世界選手権大会（視覚障がい）※パラリンピック種目以外の競技もあり
- ・ジャパンパラ・パラ日本選手権等
- ・全国障害者スポーツ大会※記録ではなく、自己を成長させることを重視
- ・県障がい者スポーツ大会
- ・市町レクリエーション大会・各種体験会

三重県競技力向上対策本部の継続と今後の競技力向上に係る取組方針

競技力向上対策本部の存続
 (目標設定、課題分析、取組評価・指導・助言)
 ~Go Forward チームみえ!~
 「これまでに積み重ねたノウハウを引き継ぎ目標に向かって前進する」



三重県競技力向上対策基本方針における目標及び計画



抜粋

第3次三重県スポーツ推進計画

令和5（2023）年度～令和8（2026）年度

スポーツを通じて「人」「地域」を結ぶみえ

～スポーツを「楽しむ」 三重^わの環～

令和5（2023）年3月

三重県

第4章 計画の基本方針

1 計画のめざす姿

スポーツを通じて「人」「地域」を結ぶみえ ～スポーツを「楽しむ」 三重の環^わ～

昨今、人口減少・少子高齢化の進展や新型コロナウイルス感染症の拡大など、スポーツを取り巻く環境は大きく変化しており、国際的に見てもSDGsへの貢献など、持続可能な社会や共生社会の実現に向け、スポーツの持つ力を活用した取組が求められています。

また、県民の皆さんの健康志向は高まっており、幼少期から高齢期まで一生涯スポーツにふれ親しむ機会が求められていること、年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、誰もがともにスポーツに取り組むことが求められていることから、地域の絆づくりにおいて、一体感の醸成などスポーツの持つ力に期待が寄せられています。

このような中、すべての県民の皆さんがスポーツの価値を広く享受し、一人ひとりがふるさと三重に愛着と誇りを持ち、豊かで充実した生活を送ることができる社会づくりが必要です。「第3次三重県スポーツ推進計画」では、県民の皆さんがスポーツを楽しみ、スポーツとともに人生を歩みつつ、スポーツを通じて「人と人」「人と地域」「地域と地域」の絆を深める取組を進めます。

2 推進施策の方向性

【推進施策1】

スポーツにふれ親しむ環境づくり ～いつまでも「楽しむ」～

県民の皆さんが、スポーツによる「楽しさ」を享受できるよう、生涯にわたって運動・スポーツにふれ親しむ環境づくりを進めます。スポーツを「つくる／はぐくむ」「誰もがアクセスできる」の視点から、社会情勢や個々人の置かれた状況に応じた取組を進めます。また、障がい者スポーツの裾野の拡大を進め、障がい者が身近な地域で日常的にスポーツに参加できる環境づくりを進めます。

【推進施策2】

スポーツを通じた自己実現と感動体験 ～挑戦し「楽しむ」～

スポーツを「つくる／はぐくむ」「誰もがアクセスできる」の視点から、アスリートをめざす皆さんの強化活動を支援することで、競技スポーツの推進を図ります。また、三重県ゆかりの選手・チームの活躍を通じて、県民の皆さんに夢や感動を届け、県民の郷土への愛着や誇りを高めます。

【推進施策3】

スポーツを通じた地域活性化と共生社会の実現 ～誰もが「楽しむ」～

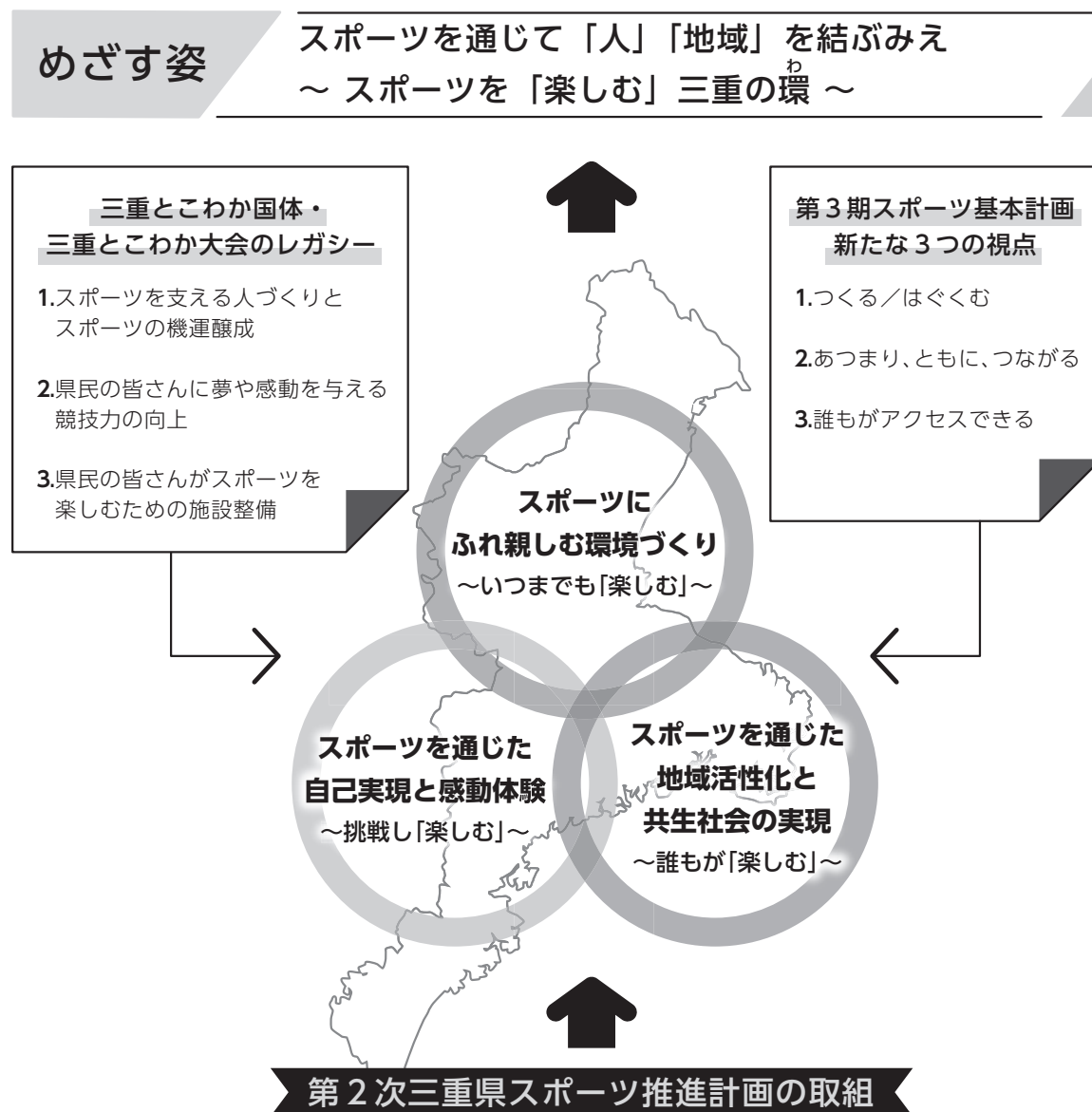
スポーツの持つ力で人や地域の交流を促すとともに、県営スポーツ施設の計画的な整備を進め、地域の活性化につなげていきます。また、障がいの有無、国籍・文化的背景や性的指向・性自認などにかかわらず、多様な主体が「あつまり、ともに、つながる」「誰もがアクセスできる」の視点から、安心してスポーツを楽しめる環境づくりを進めることで、共生社会の実現につなげていきます。

【推進施策と新たな3つの視点の関係】

推進施策	取組名	新たな3つの視点		
		つくる／はぐくむ	あつまり、ともに、つながる	誰もがアクセスできる
1 スポーツにふれ親しむ環境づくり ～いつまでも「楽しむ」～	(1)子どもたちが運動・スポーツに親しむための取組の拡充	○		
	(2)これからの学校スポーツと地域連携・地域移行	○		○
	(3)生涯を通じたスポーツ機会の充実と健康づくりの推進	○		
	(4)障がい者スポーツの裾野の拡大		○	
	(5)地域スポーツの担い手の養成・資質向上	○		○
2 スポーツを通じた自己実現と感動体験 ～挑戦し「楽しむ」～	(1)未来を拓くジュニアアスリートの発掘・育成			○
	(2)選手の可能性を引き出す優れた指導者の養成・資質向上	○		○
	(3)三重県を代表するチームの強化支援		○	○
	(4)県民に夢や感動を与えるトップアスリートの育成・強化支援			○
	(5)国際大会や全国大会で活躍をめざすパラアスリートの強化支援			○
3 スポーツを通じた地域活性化と共生社会の実現 ～誰もが「楽しむ」～	(1)三重とこわか国体・三重とこわか大会のレガシー継承・発展	○	○	○
	(2)安全・快適なスポーツ環境の提供		○	○
	(3)スポーツを通じた交流やスポーツツーリズムの促進		○	○
	(4)スポーツを通じた共生社会の実現	○	○	○

※表中の「○」印は、各推進施策の取組において特に関わりが深い「新たな3つの視点」を示しています。

【推進施策の取組イメージ】



【推進施策2】

スポーツを通じた自己実現と感動体験 ～挑戦し「楽しむ」～

競技スポーツは、人間の可能性の極限を追求し挑戦することで、自己実現や一人ひとりの豊かな人生の形成に寄与します。

目標を持ってスポーツに取り組む（「する」）ことは、自立心や精神の涵養につながり、努力を重ねて勝つ「喜び」やスポーツの「楽しさ」を得ることができます。また、勝敗にかかわらず相手を称える気持ちを養うことは、心身の健やかな成長にも寄与するものです。さらに、「みる」「支える」人びとに感動を与え、スポーツを「楽しむ」といった側面があります。

本県では、平成25（2013）年に三重県競技力向上対策本部を設置し、令和3（2021）年に開催予定であった三重とこわか国体（第76回国民体育大会）をはじめ、国内外の数々の大会で活躍できる三重県選手・チームの育成・強化に取り組んできました。

令和3（2021）年夏に開催された東京2020オリンピック競技大会には過去最多19名の三重県ゆかりの選手が出場し、金メダリストを輩出しました。また、令和4（2022）年のいちご一会とちぎ国体（第77回国民体育大会）では男女総合成績12位となり、昭和50（1975）年開催の三重国体の優勝、さらにその翌年の9位に次ぐ3番目の好成績を収めました。




『推進施策2』では、スポーツを「つくる／はぐくむ」「誰もがアクセスできる」の視点から、アスリートをめざす皆さんの強化活動を支援することで、競技スポーツの推進を図ります。また、三重県ゆかりの選手・チームの活躍を通じて、県民の皆さんに夢や感動を届け、県民の郷土への愛着や誇りを高めます。

- ・選手の将来を見据えた長期的な視点から、次世代を担うジュニアアスリートの発掘・育成や優れた指導者の養成・資質向上に取り組めます。
- ・三重とこわか国体に向けて培った競技力向上のノウハウを生かし、三重県ゆかりのトップアスリート、パラアスリート、チームの強化活動を支援します。

<取組内容>

- (1) 未来を拓くジュニアアスリートの発掘・育成
- (2) 選手の可能性を引き出す優れた指導者の養成・資質向上
- (3) 三重県を代表するチームの強化支援
- (4) 県民に夢や感動を与えるトップアスリートの育成・強化支援
- (5) 国際大会や全国大会で活躍をめざすパラアスリートの強化支援

【SDGsへの貢献】

	目標	スポーツの貢献
	すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する	小中学校・高等学校・高等教育機関において、公平で質の高い体育・スポーツ教育を受けることは、一生涯の健全なライフスタイルの確立につながります
	ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る	女性のスポーツ参画に取り組むことは、ジェンダー平等の実現に寄与します
	国内および国家間の不平等を是正する	スポーツは世界共通の文化であり、国内外の地域間格差など不平等の解消に役立ちます

（１）未来を拓くジュニアアスリートの発掘・育成

【現状・課題】

- ・将来を担うジュニア選手（小中学生）については、競技人口の少ない競技の選手の発掘・育成、ジュニアクラブ・高等学校運動部の強化指定による拠点化、選手の将来を見据えた一貫指導体制の構築など、長期的な視点での支援が必要です。

【取組の方向性】

- ・競技人口の少ない競技については、将来、国民体育大会やオリンピック等で活躍が期待される優れた資質を有するジュニア選手の発掘・育成を行います。
- ・ジュニアクラブ・高等学校運動部を指定し、国民体育大会等で少年種別の中心となる選手の育成・強化を支援します。
- ・全国大会等で活躍が期待されるジュニア選手を「チームみえジュニア」として指定し、強化活動を支援します。
- ・選手の将来を見据えた長期的な観点から指導者を育成し、少年期から成年期までの一貫した指導体制を構築します。

【具体的な取組内容】

- ・小中学生を対象とするスポーツ体験会などを通じて、優れた資質を有し、国民体育大会やオリンピック等で中心となる次世代の選手を発掘します。
- ・国民体育大会等で活躍が期待されるジュニア選手やジュニアクラブ等を指定し、強化活動を支援します。
- ・国民体育大会等で活躍するトップアスリートの育成をめざし、育成・強化の中心となる高等学校運動部を指定し、強化活動を支援します。
- ・少年期から成年期までの幅広い年齢層に応じて適切な指導ができる優れた指導者を養成し、一貫した指導体制を構築します。



タレント発掘プロジェクト
（女子ラグビー）



国民体育大会で活躍するジュニア選手
（ウエイトリフティング）

【K P I（重要業績評価指標）】

項目	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和8年度)	目標項目の説明
全国大会の入賞数	70件	165件	国民体育大会、全国高等学校総合体育大会、全国中学校体育大会における、団体・個人の入賞数

<選定理由>

- ・ジュニア・少年選手から成年選手まで幅広い年齢層における本県の競技力向上対策の取組の成果があらわれる数値であることから選定しました。

<目標値の設定理由>

- ・幅広い年齢層において安定した競技力を確保する観点から、165件と設定しました。

(2) 選手の可能性を引き出す優れた指導者の養成・資質向上

【現状・課題】

- ・三重とこわか国体ののちも安定した競技力を確保するため、ジュニア選手から成年選手まで、幅広い年齢層に応じた指導ができる指導者を養成するとともに、一貫的な指導体制の構築を図っています。さらに、指導者を育成する指導者「コーチデベロッパー」の養成に取り組んでいます。
- ・将来を見据え、長期的な視点で選手の競技力を向上させるには、幅広い年齢層に応じた適切な指導ができる優れた指導者の養成・資質向上・拡充を図る必要があります。
- ・少年期から成年期までの一貫した指導体制づくりが不可欠です。

【取組の方向性】

- ・県内指導者の資質向上を図るための研修を行うことで、指導者の拡充、一貫的な指導体制の構築を図ります。

【具体的な取組内容】

- ・日本一をめざす指導力の獲得と資質向上を図るため、チームみえ・コーチアカデミーセンター事業において国内トップクラスの講師を招へいし、コーチング論や医・科学サポートなど科学的根拠に基づいた指導法や、指導者のスポーツ・インテグリティの確保などに関する研修を行います。
- ・競技力向上の中心的役割を担い、今後の本県の指導者を育成する者としてコーチデベロッパーを養成し、優れた指導者の拡充を図ります。
- ・指導者が各カテゴリーを超えて交流することでチームみえの一体感を醸成し、一貫的な指導体制を構築します。



チームみえ・コーチアカデミー
(3期生・スタートアップミーティング)



チームみえ・コーチアカデミー
(アカデミーⅠ・Ⅱ・Ⅲ)

【KPI（重要業績評価指標）】

項目	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和8年度)	目標項目の説明
新たな指導者の拡充	39人	80人	「チームみえ・コーチアカデミーセンター事業」を受講し、新たに指導者となった人数（累計）

<選定理由>

- ・チームみえ・コーチアカデミーセンター事業の取組による指導者養成の成果があらわれる数値であることから選定しました。

<目標値の設定理由>

- ・安定した競技力を確保する観点から、今後の受講者（養成者）数を見込み、設定しました。

（３）三重県を代表するチームの強化支援

【現状・課題】

- ・成年選手の重点的な競技力向上を図るため、本県を代表するチームとして全国での活躍が期待できるチームを指定し、支援しています。
- ・競技団体やクラブチームによっては、運営基盤が弱く、組織の持続的な運営に課題を抱えている場合があります。組織力や経営力を高め、体制強化を図るため、運営に課題を抱える競技団体やクラブチームを支援しています。

【取組の方向性】

- ・全国での活躍が期待できるチームを指定し強化活動を支援することで、本県選手の競技力向上を図ります。
- ・持続的な運営が可能となるよう、専門性を有するアドバイザーを派遣することで、競技団体やクラブチームの体制強化を図ります。

【具体的な取組内容】

- ・大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業により、国民体育大会等での活躍が期待される本県を代表するチームを指定し、強化活動に要する経費を支援することで、重点的に成年選手の競技力向上を図ります。
- ・成年種別の中心として強化指定したチームのうち、運営や経営に関する課題を抱える競技団体やクラブチームに対し、専門的な知識やノウハウを持ったアドバイザーを派遣し、体制の強化を図ります。

【K P I（重要業績評価指標）】

項目	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和8年度)	目標項目の説明
全国大会の入賞数	- (中止)	105件	国民体育大会における、団体・個人の入賞数

<選定理由>

- ・成年選手における本県の競技力向上対策の取組の成果があらわれる数値であることから選定しました。

<目標値の設定理由>

- ・成年選手において安定した競技力を確保する観点から、105件と設定しました。

（４）県民に夢や感動を与えるトップアスリートの育成・強化支援

【現状・課題】

- ・選手やチーム、競技団体が行う強化活動への支援や、企業関係団体等と連携したトップアスリート・指導者の県内定着などに取り組んでいます。
- ・これまで積み重ねてきた競技力向上のノウハウを生かした選手・チームへの支援が必要です。
- ・三重とこわか国体が中止となったものの、引き続き、国民体育大会での男女総合成績10位台前半を維持するため、選手・チームの安定的な競技力の確保が必要です。

【取組の方向性】

- ・選手・チームの課題を把握し、実力を引き上げられるよう、競技団体や本県を代表するチーム等の強化活動を支援します。
- ・選手が大会で実力を発揮できるよう、医・科学の専門スタッフを競技団体等に配置するなどの支援を行います。
- ・女性アスリート特有の諸課題に関する研修を実施し、知識習得・意識向上を図ります。
- ・企業関係団体等と連携した就職支援により、トップアスリート・指導者の県内定着を図ります。

【具体的な取組内容】

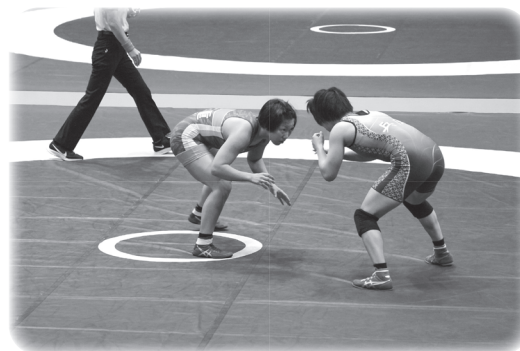
- ・国民体育大会で活躍が期待される代表選手（チームみえ）やオリンピック等の国際大会で活躍が期待される選手が行う強化活動を支援するとともに、選手が実力どおりのパフォーマンスを発揮できるよう医・科学の専門スタッフを派遣するなどの支援を行います。
- ・スポーツ・インテグリティの確保に向け、関係団体と連携し、ドーピングの禁止やハラスメントの防止などの注意喚起を図ります。
- ・女性アスリートが継続して競技に取り組むことができるよう、研修を通じて女性特有の諸課題に関する知識の習得や意識向上を図ります。
- ・安定した競技力を維持できるよう、全国大会や国際大会で活躍するトップアスリートや指導者に対し、県内企業等と連携して就職支援を行い、県内への定着を図ります。



国民体育大会で活躍する三重県選手
(フェンシング)



国民体育大会で活躍する三重県選手
(トライアスロン)



国民体育大会で活躍する三重県選手
(レスリング)

【KPI（重要業績評価指標）】

項目	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和8年度)	目標項目の説明
国民体育大会の 男女総合成績	- (中止)	10位台前半	国民体育大会における正式競技の参加点（ブロック大会を含む）と冬季大会及び本大会の競技得点の合計による都道府県ごとの男女総合順位

<選定理由>

- ・三重とわか国体ののちも安定的な競技力を確保することをめざしており、各県の競技力を示す指標であることから選定しました。

<目標値の設定理由>

- ・三重とわか国体ののちも安定した競技力を確保する観点から、（大都市圏などの常連県に次ぐ位置として）10位台前半と設定しました。

（５）国際大会や全国大会で活躍をめざすパラアスリートの強化支援

【現状・課題】

- ・競技力向上を図るため、パラリンピック等の国際大会や全国大会で活躍が期待される一定の競技力を有する選手を指定し、強化活動を支援しています。
- ・競技によっては、パラスポーツを専門とするコーチや、同じレベルの練習パートナーが県内に不足しており、活動拠点を県外や海外に求めざるを得ない場合があります。
- ・競技用具の機能や調整具合が勝敗を分けることがあり、個々の競技の特性をふまえたきめ細かな支援が必要です。

【取組の方向性】

- ・一定の競技力を有する選手に対し、強化活動の支援を行います。
- ・選手に応じたきめ細かな支援を行うため、選手一人ひとりの状況把握に努め、求められる支援のためのノウハウや経験を蓄積します。

【具体的な取組内容】

- ・パラリンピック等の国際大会や全国大会での活躍をめざして強化活動に取り組む本県選手のうち、国際大会や全国大会で入賞するなど一定の実績（競技力）を有し、パラリンピック等での活躍が期待される選手を指定し、遠征費や大会参加料、競技用具の購入、医・科学スタッフの派遣など、強化活動を支援します。
- ・強化支援による成果や選手それぞれが求める支援について、選手に聴取りを行い、さらなる支援の充実を図ります。



日本選手権で活躍する三重県選手
（陸上競技）

【K P I（重要業績評価指標）】

項目	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和8年度)	目標項目の説明
パラアスリートの 全国大会の入賞数	35件	41件	ジャパンパラ競技大会、日本選手権に おける、団体・個人の入賞数

<選定理由>

- ・パラアスリートにおける本県の競技力向上対策の取組の成果があらわれる数値であることから選定しました。

<目標値の設定理由>

- ・東京2020パラリンピック競技大会及び三重とわか大会に向け高まった、県内選手の競技力を維持・向上させるため、平成30(2018)年度から令和3(2021)年度まで(令和2(2020)年度を除く)の入賞数実績の平均値等を参考に、令和8(2026)年度の目標値を41件と設定しました。

三重県競技力向上対策本部規約

第1章 総則

(名称)

第1条 この本部は、三重県競技力向上対策本部（以下「本部」という。）と称する。

(目的)

第2条 本部は、国民スポーツ大会等に向けた競技力の向上を図り、スポーツ推進の更なる発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本部は前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 三重県競技力向上対策基本方針（以下「基本方針」という）を策定し、具体的な競技力向上対策計画（以下「推進計画」という）の策定と進捗状況等の分析・評価及びその結果を踏まえた同計画の見直しに関すること。
- (2) 競技力向上対策事業の実施に関すること。
- (3) 競技力向上対策の条件整備に関すること。
- (4) その他本部の目的達成に必要な事業に関すること。

第2章 組織

(構成)

第4条 本部は、本部長及び次の各号に掲げる者のうちから本部長が委嘱した委員をもって組織する。

- (1) 県関係者
- (2) 県議会関係者
- (3) 市町関係者
- (4) 教育関係者
- (5) 産業・経済関係者
- (6) 学校・スポーツ団体関係者
- (7) 学識経験者（競技力向上に関する）

(役員)

第5条 本部に、次の役員を置く。

- (1) 本部長 1名
- (2) 副本部長 若干名
- (3) 監事 若干名

(役員の選出)

第6条 本部長は、三重県知事をもって充てる。

2 副本部長は、本部会議の承認を得て、委員のうちから本部長が委嘱する。

3 監事は、本部会議の承認を得て、本部長が委嘱する。

(役員の職務)

第7条 本部長は、本部を代表し、会務を総理する。

2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故あるときは、本部長があらかじめ指名した副本部長が、その職務を代行（代理）する。

3 監事は、本部の会計を監査する。

(任期)

第8条 委員及び役員（以下「委員等」という。）の任期は、本部の目的が達成され、解散することとなる日までとする。ただし、委員等が就任時における所属機関及び団体等の役職を離れた場合、その委員等は、辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

2 本部長は、委員等に特別の事情が生じたときは、その職を解き、必要に応じて補充することができる。

3 本部長は、前項の規定により、委員等の変更があった場合は、次の本部会議において報告する。

第3章 会議

(会議の種類)

第9条 本部に次の会議を置く。

(1) 本部会議

(2) 競技力向上対策委員会

(本部会議)

第10条 本部会議は、本部長が委嘱する委員をもって構成する。

2 本部会議は、本部長が招集する。

3 本部会議の議長は、本部長が指名する。

4 本部会議は、次の事項について審議し、決定する。

(1) 総合的な事業の推進に関すること。

(2) 規約の制定および改廃に関すること。

(3) 事業計画および事業報告に関すること。

(4) 予算および決算に関すること。

(5) 競技力向上対策委員会に付託及び委任する事項に関すること。

(6) その他競技力の向上に係る重要な事項に関すること。

5 本部会議は、委員の過半数の出席がなければ開会し、議決することができない。

6 本部会議に出席できない委員は、代理人に権限を委任するか、または書面で議決に加わることができる。

- 7 本部会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(競技力向上対策委員会)

第11条 競技力向上対策委員会は、本部長が委嘱する委員をもって構成する。

- 2 委員長、副委員長は、本部長が競技力向上対策委員会委員の中から委嘱する。

- 3 競技力向上対策委員会は、本部会議から付託および委任された専門的事項について調査・協議する。

- 4 前項のほか、競技力向上対策委員会に関する必要な事項については、本部長が別に定める。

第4章 専決処分

(本部長の専決処分)

第12条 本部長は、本部会議を招集するいとまがないと認める緊急な事項について、これを専決処分することができる。

- 2 本部長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の本部会議において報告し、その承認を得なければならない。

第5章 事務局

(事務局)

第13条 本部の事務を処理するため、三重県地域連携・交通部スポーツ推進局内に事務局を置く。

- 2 事務局に関する必要な事項は、本部長が別に定める。

第6章 会計

(経費)

第14条 本部の経費は、三重県からの負担金およびその他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第15条 本部の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

第7章 補則

(委任)

第16条 この規約に定めるもののほか、本部の運営に関する必要な事項は、本部長が別に定める。

附則

- 1 この規約は、平成25年5月29日から施行する。
- 2 本部の設立時の会計年度は、第15条の規定にかかわらず、本部が設立された日から始まるものとする。

附則

- 1 この規約は、平成30年4月1日から施行する。

附則

- 1 この規約は、令和4年4月1日から施行する。

附則

- 1 この規約は、令和5年4月1日から施行する。

附則

- 1 この規約は、令和6年4月1日から施行する。

三重県競技力向上対策委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、三重県競技力向上対策本部規約第11条の規定に基づき、三重県競技力向上対策委員会（以下「委員会」という。）の組織および運営に必要な事項を定める。

(業務)

第2条 委員会は、本部会議から付託および委任された専門的な事項について、調査・審議する。

(役員)

第3条 委員会に次の役員を置く。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 若干名
- 2 役員は、本部長が委嘱する。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(委員)

第4条 委員は、次の各号に掲げる者のうちから本部長が委嘱した委員をもって構成する。

- (1) 県関係者
- (2) 市町関係者
- (3) 産業・経済関係者
- (4) 学校・スポーツ団体関係者
- (5) 学識経験者
- (6) その他本部長が特に必要と認める者

(委員の任期)

第5条 委員及び役員の任期は、本会の目的が達成された日までとする。ただし、委員が就任時の所属機関及び団体等の役職を離れた場合、その委員は辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

(会議)

第6条 委員会は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ開会できない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 委員長が必要と認めるときは、委員以外に専門的知識を有する者の出席を求め、必要に応じて専門委員会を開催し、意見を聞くことができる。

(委任)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、委員長が本部長の承認を得て別に定める。

附 則

この規程は、平成25年5月29日から施行する。

